

第五十九回
帝國議會
貴族院

電氣事業法改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

昭和六年三月二十三日(月曜日)午前十時
十九分開會

○委員長(侯爵大隈信常君) 是ヨリ開會イ
タシマス

○男爵有地藤三郎君 昨日私ノ御尋ネシタ
コトニ付テハ遺憾ナガラ十分ナル要領ヲ得
ルダケノ御説明ヲ得ナカタノヲ非常ニ殘
念ニ思ヒマスガ、尙ホソレハソレトシテ置
キマシテ、此箇條ニ付テ御尋ネシテ昨日御
尋ネシタコトノ一部分ノ意味ヲモ明ニスル
コトガ出來レバ幸ヒト思ヒマスカラ、尙ホ
御説明ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、第一條ノ
二號ニ屬シマス、一般運送ノ用ニ供スル鐵道
又ハ軌道ノ動力ニ電氣ヲ使用スル事業ト
云フコトヲ電氣事業トシテ上ゲテアリマス
ガ、之ハ舊規定ノ條項ヲ其儘矢張り此處ニ
上ゲラレタノダト思ヒマスガ、之ヲ能ク考
ヘテ見ルト、自家用ノ部類ニ這入ルノデハ
ナイカト考ヘマス、此改正案ノ出來ルニ付
テハ、從來ノ斯ウ云フ箇條ヲ電氣事業トシ
テ設ケラレルニ付テ不備ナ點ガ全部取除カ
レタコトト思ヒマスカラ、此自家用ト云フ
モノハ此後ニ規定シテアル條項ニ依ッテ遺
憾ナク律セラレテ居ルト考ヘマスガ、此

處ニ再ビ斯ウ云フコトヲ上ゲラレタノハド
ウ云フ意味ヲナシテ居ルノデアリマセウカ、
ソレヲ御説明ヲ願ヒマス

○國務大臣(小泉又次郎君) 只今ノ御尋ネ
ハ内容ニ瓦ルト云フ少シク専門のニナリ、
法文ニモ關スルコトデスカラ電氣局長カラ
御説明申シ上ゲマス

○政府委員(富安謙次君) 御尋ネノ御趣旨
ハ現行法ニアル二號ノ「一般運送ノ用ニ供
スル鐵道又ハ軌道ノ動力ニ電氣ヲ使用スル
事業」ト云フノヲ其儘取タモノラシク考ヘ
ルケレドモ之ハ改ムベキモノデハナイカ、
寧ロ自家用ノ方デ律スベキモノデハナイカ
ト云フ御尋ネノヤウニ拜承イタシマシタ、
私共ノ考ヘテ居ル所ニ依リマス、第二號
ノ事業ト云フモノハ其公益性カラ考ヘテ、
第一號ノ事業即チ一般ノ需要ニ應ジテ電氣
ヲ供給スル事業ト同様ニ監督ヲ致シテ行ク
必要ガアル、權利ヲ與ヘル方面カラ云、テモ
一般ノ需要ニ應ジテ電氣ヲ供給スル事業ト
同ジヤウニ與ヘル必要ガアリマスシ、又之
ヲ統制上ノ義務其他必要ナル程度ノ義務ヲ
課スル點カラ云、テモ、一般ノ需要ニ應ジテ
電氣ヲ供給スル事業ト同一ニ扱ハナケレバ

ナラナイ程度範圍ノモノガ相當ニアルト思
ヒマス、之ヲ一號二號ト並ベテ同ジヤウニ
扱、テ居ル現行法ノ立前ト云フモノハ、新改
正案ニ於テモ矢張り維持サレネバナラナイ
モノデアル、之ヲ本法案ノ法條ノ適用ノ頗
ル薄弱ナル所ノ自家用ノ施設ト同ジヤウニ
持、テ行クト云フコトハ却テ私共ノ期待シ
テ居ル所ノ立前ト反對ノコトニナルト考ヘ
テ居ル次第デアリマシテ、此方ハ現行法ト
同ジニ、第一號ト同ジニ扱フ必要ガ新改正
法案ニ於テ益、増加コソ致シマスレ、反對ニ
自家用ノ方ニ引著ケテ行クト云フヤウナコ
トハ、新法案ノ立前ニ於テハ寧ロソレハ反
對ノコトデアルト云フ風ニ私共トシテハ考
ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵有地藤三郎君 御説明ノ點ハ能ク了
承イタシマシタガ、唯私ノ疑問トスル點ハ、
自家用並ニ……第三十條重要ナル産業又ハ
公共ノ利益ト爲ルベキ事業ノ爲電氣ヲ供給
又ハ使用スル事業ニ關シテハ勅令ノ定ムル
所ニ依リ本法ヲ準用スルアリマスカラ、斯
ウ云フ特別ナモノヲヤルト云フコトハドウ
カ、且ツ此條文ノ中ヲ見ルト、總ベテ第一
條ヲ規定スル場合ニ規定スル……ト言フト

言葉ガ惡イカモ知レマセヌガ、第一條ノコ
トヲ申ス場合ニ何時デモ第二號ト云フモノ
ガ除外サレテ居ルト云フコトヲ見ルト、ド
ウシテモ之ハ我ミガ本業ト解スル所謂鐵道
事業ト云フコトガ飽迄モ本體デアッテ、電氣
ヲ使用スルカラ電氣事業デアルト云フコト
ハ、斯ウ云フ改正ノ趣旨カラ出來タ此法律
全體カラ考ヘテモ如何ニモ無理ノヤウニ考
ヘマスカラ御尋ネシタ次第デアリマスガ、
之ヲ之カラ取ルト云フコトニナッテ三十條
ニアルト同ジヤウナ御考ガ得ラレルデセウ
カ、或ハ全然得ラレナイデセウカ、其點ヲ
伺ヒマス

○政府委員(富安謙次君) 電氣事業ニ付キ
マシテ、供給事業ト同ジヤウニ一號二號ト
並ベテ取扱、テ居リマスル必要ト云フコト
ニ付キマシテ今少シク立入リマシテ私共ノ
考ヘテ居リマスル所ヲ申述ベサシテ戴キマ
シタナラバ御諒解ヲ得ラレルカト思フノデ
アリマス、此電氣ノ事業即チ第二號ニ上ガッ
テ居ル事業デアリマスルケレドモ、斯様ナ
電氣電氣事業ト云フモノハ非常ナル大規模
ナ施設ヲ要スルノデアリマシテ、而カモ先
程申シマシヤウニ公共ノ利益ト直接ノ密

接ノ關係ニアル事業デアリ設備デアリマス
ルノデ、電氣事業法上ノ電線路特權ト云フ
モノヲ享受セシメナケレバナナイト云フ
必要ハ當然アルト云フコトヲ先ヅ第一ニ御
諒解ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、其點
ニ於キマシテ第一號第二號ト竝ベ立テル理
由ハ先ヅアラウト思ヒマス、ソレカラ新法
案ノ立前ト云フモノガ電氣事業ノ全般ニ互
リマシテ全國的ニ統制ヲ行フデ行カウト、斯
ウ云フ趣旨カラ生レ出テ參デ居ルノデア
リマスルカラ此第二號ト雖モ之ヲ電氣事業
法ノ對象トスルト云フコトハ使用ノ電力ノ
關係其他ノ關係カラ考ヘマシテ今マデヨリ
モ一層深クコソナレ、減シタ理由ハナイノ
デアリマス、此點モ先刻申上ゲマシタヤウ
ニ新法案ガ之ヲ一號ト竝ベテ考ヘテ居ルノ
ハ、私共ノ考ヘマス所ニ依リマスレバ當然
斯クアラネバナラスト考ヘテ居ル次第ナノ
デゴザイマス、ソレカラ申上ゲルマデモナ
ク此電鐵軌道ニ……電氣軌道ニ用キマスル
電氣ノ確實デアアルカナイカト云フヤウナコ
トハ、交通ノ安否ヲ左右スル絕對ナ根本要
件デアリマスルノデ、斯様ナ動力ニ對スル
電源ノ供給ノ圓滿ヲ確保シナケレバナラス
ト云フ其必要ノ點カラ考ヘマスレバ、電氣
事業ノ統一ナル行政ヲ以テシナケレバ目的

ヲ遂ゲルコトガ出來ナイノデアリマス、之
ヲ電氣事業ノ外ニ置キマシテ全ク性質ノ
異テ居リマスル、自家用トシテ取扱フヤウ
ナコトデアッテハ到底不十分デアルト云フ
コトヲ私共ハ考ヘテ居ル譯ナノデアリマス、
尙ホ進シテ申シマスルナラバ、此電鐵用ノ
電氣工作物ノ中ニハ其規模、ソレカラ又技
術的ノ性質ノ點等カラ考ヘマシテ、其施設
如何ニ依リマシテハ、地域觀測ト云フヤウ
ナ精密測定ト申シマスルカ、アノヤウナ事
柄、ソレカラ又電信電話等ニ對スル誘導物
障礙ト云ヒマスルカ、其ヤウナモノノ關係、
其他色ニ他ノ種ノ工作物ノ關係ガ複雑デ密
接ナモノガ随分アルコトハ御案内ノ通りデ
アルト思フノデアリマス、斯様ナモノヲ電
氣的ノ統一ナル行政監督ノ外ニ置クト云フ
コトハ、私共ハドウシテモ出來難イコトデ
アル、之ヲドウシテモ行政事業ト同ジヤウ
ニ取扱フト云フコトハ是非必要デアルト考
ヘテ居ルノデアリマス、自家用ノ施設ヲ以
テシテハ足りナイノダト云フコトヲ、斯様
ナ意味ニ於キマシテ御諒解ヲ得ルコトガ出
來レバ仕合セダト存ズル次第デゴザイマ
ス

○男爵有地藤三郎君 御話ヲ伺ヒマスト成
ル程御尤ノヤウニ感ジマスガ、唯私ハマダ
此三十條ノ第二項デスガ、第二項ノコトデ
以テ十分此目的ガ達シ得ラレルダラウト思
ヒマスカラ、茲デ疑問ヲ生ジタ譯デスガ、
又此第二項ヲ御入レニナッタ他ノ意味ニ於
テ私ハ昨日御尋ネシタコトニ關聯シテ申シ
テ見タイト思ヒマスガ、此電氣ノ供給統制
ト云フコトノ大體ノ理由ヲ御述ベニナリマ
シタガ、所謂發送電豫定計畫ト云フモノガ
昨日述ベマシタヤウニ非常ニ重要ナ基本的
ノモノデアリ、サウシテ此モノガ各省關係
ノ所デ合同協力シテ調査ヲシ、サウシテ計
畫ガ成立タトスルナラバ、總テ斯ウ云フ風
ナモノハ自カラ解決サレテ、即チ發電……
發送電豫定計畫ト云フモノ、確立ニ依ッテ
萬事解決サレテ、何等茲ニ私ノ考ヘトシテ
ノ無理ナ條項ヲ再ビ此改正案ニ御載セニナ
ルコトハナイノデヤナイカト斯ウモ私考ヘ
ルノデアリマス、是ハ唯意見ガ違フト云フ
コトダケニ過ギナイカモ知レマセスガ、ソ
レデ昨日ノ發送電豫定計畫ト云フコトニ付
テ御尋ネシマシタコトニ付テモ是ガモウ總
テノ此法案ノ運用ニ付テノ基礎ニナッテ、是
サハ十分ニ御決メニナルコトガ出來レバ、
今マデ各條ニ付テ衆議院ニ於テモ、或ハ此
所ニ於キマシテモ色ニ議論ガアリマシタコ
トヲ、全部之ニ依ッテ解決サレルデハナイカ

ト斯ウ思ヒマスカラ、私ハ唯意見ダケヲ申
述ベル譯デアリマス、次ニ移リマシテ此電
氣委員會ノコトデアリマスガ、此電氣委員
會ト云フコトノ運用ニ付テ衆議院ノ方デ以
テ追加ガアリマシタガ、此追加サレタト云
フコトニ付テ考ヘテ見マスト云フト、此法
文ノ中ニモ深山具體的ニ舉ゲラレテアルノ
ガ、電氣委員會ニ諮問セラルベキコトトシ
テ僅カナルモノガアリマスノデスガ、是ハ
單ニ二十八條ダケヲ追加サレタノデアリマ
スガ、此重要ナル事項ト云フボンヤリシタ
コトニセズニ、出來ルダケ條文ノ中ニアリ
マス所ノ、電氣委員會トシテ取扱ハレル性
質ノモノヲ尙ホ之ニ追加ナスタナラバ尙
ホ一層此電氣委員會ト云フモノノ效力ヲ十
分ニ發揮スルコトガ出來ルデナイカト思ハ
レマスガ、如何ナモノデゴザイマセウカ
○政府委員(富安謙次君) 御答ヘ申上ゲマ
ス御尋ネノ御趣旨モ誠ニ御尤モトハ存ズル
ノデアリマス、併ナガラ此御趣旨ノ存ジマ
スル問題ハ結局ハ立法ノ技術デアルトカ、
法律ノ體裁デアルトカ、一般ニドウ云フヤ
ウナ體裁、法制ノ立前ヲ以テ統一ヲ今日日
本ノ法制ガシテ居ルカト云フコトノ問題ニ
歸著シハ致サナイカト私共存ズルノデアリ
マス、書キ方ト致シマシテハ御説ノヤウ

ニ法律ノ中ニ斯ク斯クノ事柄ト云フコトヲ全部擧ゲマシテ其他重要ト云フヤウナコトヲ括リマシテ書キマスル方法モ勿論考ヘ得ル次第ト存ズルノデアリマス、併シ一般ニサウ云フ場合ニ於キマシテドウ云フヤウナ書キ方ヲスルノガ今日ノ日本ノ法制ノ立前デアルカト云フ點ヲ一面ニ於テ考慮ニ入レテ、ソレト統一アル連絡ヲ此法制ト雖モ執ラナケレバナラヌコトハ勿論デアリマスルノデ、大體サウ云フヤウナ統一アルヤリ方モ是モ一ツノ現レニナッテス様ナコトガ普通ノ形デアルト云フコトデ、私共ハ今アルヤウナ形ニ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、モット極端ニ申シマスルナラバ書キ方ト致シマシテハ例示ヲシナイデ、唯電氣委員會ヲ置クト云フヤウナ形ニシタ書キ方モアルダラウト思ヒマスカラ又法律ノ中ニ書カナイデ、官制ニノミデ、委員會ト云フコトヲ官制デノミ言ッテ、法律ノ中ニハ頭ヲ出サナイト云フ書キ方モ考ヘラレ得ルト思フノデアリマス、色ミアルノデアリマスケレドモ、結局色ミノ例ヲ考ヘマシタ上デス様ナ所ヲ妥當トスルト云フヤウナ法制上ノ審議ノ結果此結果ニ落付イタ譯デアリマス、此效果ト云フコトニナリマスレバ法律ニ此例示ダケ致シ、ソレカラ官制ノ上ニ他ノ條項

ヲ書キマシテモ、ソコニ差別ノアルベキ筈ノモノデナイト云フコトハ、御案内ノ通りデゴザイマスガ、前ニ申シマシタヤウナ趣旨ニ於テ先ヅ是ガ普通ノ形デアルト云フ意味ニ於キマシテ此二ノ例ヲ擧ゲテ、其他ノ重要ノ事項ト云フコトヲ括リタノヲ法律ノ上ニ現シテ、他ハ簡條的ニ列擧スルコトヲ官制ニ讓ルト云フ形ヲ採ッタニ過ギナイノデゴザイマス、左様御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵有地藤三郎君

ソレデハ此條文カラ

離レテ御尋ネシマスガ、此條文ヲズット見マスト云フト第四條、第八條第三項、第十條第二項、第十二條第二項、第十四條第一項、第十六條、第十七條、第十八條、十九條、第二十條、第二項、第二十一條、第二十三條、第二項、第二十四條、第二十五條、第二十六條、第二十八條、第二項、是ハ第一項ハ衆議院デ追加サレテ居リマスルカラ申シマセヌガ、第二十九條、第一、二、四項、是等ノコトハ勿論當局ニ於カレマシテ、此委員會ノ取扱フベキモノトシテ御考ニナッテ居ルダラウト思ヒマスガ、此委員會ノ規定ヲ別ニ勅令ニ依ッテ定メラレルト云フコトニ付キマシテ、豫メ政府ノ御豫定ト申シマスカ、御考ト云フコトヲ確カメテ置キタ

イト思ヒマス

○政府委員(富安謙次君)

御答申シマス、

只今御擧ゲニナリマシタ各簡條ニ付キマシテ私一々當テ考ヘマスル餘裕ガアリマセヌデシタノデ、全部ドウ云フヤウナ關係ニナリマスト云フコトニ付テ、的確ニ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマスルケレドモ、大體電氣委員會ノ組織、權限ト云フモノハ臨時電氣事業調査會ニ於キマシテ、是多分御手許ニ御配リヲ致シテアルカト存ジマスルケレドモ、答申ノ中ニ、電氣委員會ノ組織權限ニ關シテハ凡ソ左ノ加クスルコトヲ適當ト認メルト云フコトノ斷リ書キガ附キマシテ、電氣委員會デ可ト認メタノデアリマシテ、其法則ト云フモノガ既ニ輪廓ガ決テ居ルノデゴザイマスカラ、其趣旨精神ヲ十分尊重シテ居リマスル程度ニ於キマシテハ、ソレニ該當スル限り、只今御擧ゲニナリマシタヤウナ事柄モ諮問スルノデアルト云フコトヲ法條ノ中ニハ書キマセヌデモ、ハッキリ申上ゲルコトハ出來ルト存ジマス、輪廓ガ茲ニ出來上リ、趣旨、精神ト云フモノガモウ明カニナッテ居ルノデアリマスルカラ、ソレニ該當イタシマスル限りハ書ケルト云フコトヲ茲ニ申上ゲルコトガ出來ルト思フノデアリマス、個々ノ條項ニ

付キマシテハ詳シク一ツ／＼ニ當ラシテ戴クコトガ出來ルナラバ、是ハドウ、是ハドウト云フコトヲ申上ゲルコトガ出來ルカモ存ジマセヌ

○國務大臣(小泉又次郎君)

只今有地男爵

ノ、委員會ニハドウ云フモノヲ諮問スルノデアルカ、此法文ノ中ノ第何條ノ何項ト云フコトノ御指定ガアリマシタガ、チヨット私モ記憶ヲシ兼ネマシタノデアリマスルガ、ソレニ付テ政府委員カラ答辯ヲ致シマシタ、其答辯ニ付テノ補足ヲ致シテ置キタイト思フノデアリマス、三十二條ノ電氣委員會ヲ置キマスル、其電氣委員會ニ關シマスル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトニ相成ッテ居リマスルガ、大體只今政府委員ノ御答辯ヲ申上ゲマシタ通り、臨時電氣事業調査會ノ答申ニ係リマスル事項ヲ諮問ヲ致ス心持デアリマシテ、之ヲ茲ニ一二ヲ例示イタシマスルナラバ、統制上重要ナル發電及送電線豫定計畫ニ關スル事項又第二十四條ニ規定シテアリマスル各種ノ命令ニ關スル事項、又特定供給ノ許可標準及電氣料金決定ノ標準ニ關スル事項、又法令ノ規定ニ依リ遞信大臣ノ指定スベキ重要事項、其他重要ナル事項ハ總テ之ヲ諮問スル心持デ居ルノデアリマスルカラ、ドウゾ左様御諒承ヲ

願ヒタイト思ヒマス

○男爵有地藤三郎君 私ハ此電氣委員會ニ付テ、非常ニ此法案ニ付テ重要ナ點ト考ヘマシタルガ故ニ、此適用ト云フコトニ付テハ餘程慎重ニ御考慮ヲ願ヒタイト云フコトデ、豫メ此法案ニ於テハ唯電氣委員會ヲ設置スルト云フ、非常ナ簡單ナコトデアリマシタカラシテ、此問題ハ從來私共ガ心配シテ居リマシタ、此折角ノ樹テラレタ國策ト云ヒマスカ、方針ニ對シマシテ、政治的ノ影響ヲ受ケルト云フコトヲ惧レテ居リマス結果、玆ニ色ニナ簡條ニ付テ豫メ御意見ヲ承ツタケノ次第デアリマスカラ、左様ニ御承知ヲ願ヒタウゴザイマス、詳シク御説明下サイマシテ甚ダ満足イタシマシタ

○子爵瀧脇宏光君 チョット今ノ電氣委員會ノコトニ付テ御尋ネイタシタインデアリマスガ、私ハ丁度外ノ委員會デ二三日出テ居ラレマセヌデシタカラ、若シ重複スル所ガゴザイマシタラ、大臣カラ重複シテ居ルト仰シヤッテ下サレバ、速記録ヲ見ルコトニ致シマス、極ク簡單ニ御答ヘ願ヘバ結構デアリマス、此案ヲ拜見イタシマスルト、ソレハ前ノ調査會デ、電氣事業調査委員會ノ主モニ答申ニ基イテ御出シニナッタヤウニ存ジマスノデアリマスガ、拜見イタシテ

見マスト云フト、電氣事業者側ノ方ノ利益バカリガ主トナッテ居ルヤウニ存ジマスノデアリマス、調査會ノ御顔振ヲ拜見イタシテ見マシテモ、金融業者カ或ハ電氣事業者、貴衆兩院議員、官吏、此位カラ成テ居リマシテ、需要者側ノ代表者ト云フモノガ何モ這入ッテ居ナイヤウニ存ジマス、殊ニ中小工業者ノ利益ヲ代表者スル人ハ誰モ這入ッテ居リマセヌ、ソレデドウモ此案ヲ見マスト云フト、消費者側ノ意見ヲ代表シテ……單ニ電氣事業者側ノ立場バカリ御考ヘニナッテ居ルヤウニ存ジマスノデアリマスガ、此案ガ出來マシテ消費者側ノ方ハドウ云フ利益或ハ保護ヲ受ケマスルノデゴザイマスルカ、具體的ニ御話ヲ願ヒタイノデアリマス

○國務大臣(小泉又次郎君) 有地男爵ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、本案ヲ立案イタシマシタノハ只今仰セノ通り、臨時電氣事業調査會ニ諮問ヲ致シマシテ、其諮問會ノ答申ヲ骨子ト致シマシテ組立テタル案ニ相違ナイノデアリマスガ、此電氣事業委員會ハ電氣事業者モ這入ッテ居リマスルデアリマスルガ、決シテ電氣事業者バカリノ御方デハナイノデアリマシテ、所謂朝野ノ知識經驗ノ有ル御方ノ御集マリデ、特ニ慎重ニ御審議ヲ願ッタノデアリマス、左様ナ譯デアリ

マシテ、必ズ之ガ事業者一方ニ偏シテ居ルト云フヤウナ嫌ヒハ全クナイト存ジテ居リマス、而シテドノ點ガ消費者側、即チ需要者側ノ利益ノ點ガアルカ、具體的ニ話セト云フ仰セデアリマスガ、私ハ大體ニ付テ御答ヘ致シマスレバ、御承知ノ如ク現行法ニ依リマスルト、料金ハ届出制度ニナッテ居ルノデアリマシテ、必ズ公平ヲ得テ居ルカ得テ居ラヌカト云フコトハ、確定的ニ斷定ヲスルト云フコトハ至難ト思ッテ居リマス、本案ニ依リマスルナラバ申ス迄モナク料金ハ認可ヲスル制度ニ相成ッテ居リマス、而シテ此認可ハ極メテ公平ナ見地ニ立チマシテ、事業者側ノ出來得ルダケノ浪費ヲ省イテ、サウシテ無駄ヲ排除スル、其結果ハ消費者ニ利益スル所ガ少クナイノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ、此法案ガ實施スル曉ニナリマスルト云フト、事業者ガサウ莫大ナル利益ヲ占ムルコトガ出來マセヌ、從ッテ又極メテ競争的ニ原價ヲモウ損ヲシテモ宜シイカラト言ッテ、特別ナ安イ料金ヲ以テ賣ルト云フコトモ出來ナカラウト思ッテ居リマス、ソコニ公平ナル需給ト云フモノノ調節ガ出來テ參リマシテ、今日ヨリ以上ニ消費者ハ幸福ヲ得ルコトノ仕組ニ相成ッテ居ル、又必ズサウ云フ結果ヲ生ムノデ

アル、斯様ニ信ジテ居ル次第デアリマスガ、其内容等ニ至リマシテハ政府委員カラ今一應御答ヲサセマス

○政府委員(富安謙次君) 御答申上ゲマス、臨時電氣事業調査會ノ職員ガ需要家ヲ代表シテ居ルモノガナイヤウニ見エルト云フ御言葉ニ對シマシテハ、一應御尤トハ存ズルノデアリマス、併シ私共ト致シマシテハ需要家側ノ權益ヲ代表シテ發言ヲシテ貰フ目的ヲ以チマシタヤウナヲモ出來ル限リニ於キマシテ考慮イタシテ居ル積リデアリマス、ト申シマスノハ、譬ヘテ申シマスカラバ、御言葉ニアリマシタヤウニ、商工業者ノ利益ヲ誰ガ此委員會ニ於テ代表スルカト云フヤウナコトニナリマスレバ、左様ナ點ニ付テ産業監督ノ衝ニ當テ十分ニ實情ヲ知ッテ居リ、其權益ヲ代表シテ居ル管デアリマス、商工省ノ官吏ヲ其意味ニ於キマシテ入レテ居ル次第デアリマスルシ、同じヤウナコトガ農林省ノ官吏ニ付テモ言ヘルデアリマセウシ、又他ノ内務省ノ如キニ付キマシテモ、サウ云フヤウナ意味ヲ以チマシテ、此職員ノ中ニ加ヘマシテ十分需要者ノ權益ヲ代表發言ヲシテ貰フト云フ積リデ考慮ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ官吏デナク、尙ホ適切ニ、如實ニ、需

マシテ、必ズ之ガ事業者一方ニ偏シテ居ルト云フヤウナ嫌ヒハ全クナイト存ジテ居リマス、而シテドノ點ガ消費者側、即チ需要者側ノ利益ノ點ガアルカ、具體的ニ話セト云フ仰セデアリマスガ、私ハ大體ニ付テ御答ヘ致シマスレバ、御承知ノ如ク現行法ニ依リマスルト、料金ハ届出制度ニナッテ居ルノデアリマシテ、必ズ公平ヲ得テ居ルカ得テ居ラヌカト云フコトハ、確定的ニ斷定ヲスルト云フコトハ至難ト思ッテ居リマス、本案ニ依リマスルナラバ申ス迄モナク料金ハ認可ヲスル制度ニ相成ッテ居リマス、而シテ此認可ハ極メテ公平ナ見地ニ立チマシテ、事業者側ノ出來得ルダケノ浪費ヲ省イテ、サウシテ無駄ヲ排除スル、其結果ハ消費者ニ利益スル所ガ少クナイノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ、此法案ガ實施スル曉ニナリマスルト云フト、事業者ガサウ莫大ナル利益ヲ占ムルコトガ出來マセヌ、從ッテ又極メテ競争的ニ原價ヲモウ損ヲシテモ宜シイカラト言ッテ、特別ナ安イ料金ヲ以テ賣ルト云フコトモ出來ナカラウト思ッテ居リマス、ソコニ公平ナル需給ト云フモノノ調節ガ出來テ參リマシテ、今日ヨリ以上ニ消費者ハ幸福ヲ得ルコトノ仕組ニ相成ッテ居ル、又必ズサウ云フ結果ヲ生ムノデ

要者ノ利益ヲ代表シ得ルト云フヤウナ是ガ其機關デアルト云フヤウナコトヲ一般ニ社會のニ認メラレタヤウナモノガアルト致シマスレバ、直チニソレヲ以テ此職員ノ中ニ加ヘルト云フコトニ無論躊躇イタスモノデハナイノデアリマスケレドモ、如何ナル機關、如何ナル人ヲ以テ、左様ナ目的ニピタリト合セルカト云フコトニ付キマシテハ色色考慮ヲ重ネマシタケレドモ、ソレガ非常ニ困難デアルト云フコトヲ發見イタシマシテ、出來得ベキト考慮シ得ベキ最善ノ方法ト致シマシテ、只今申上ゲタヤウナ方法ヲ執リマシテ、御趣旨ノ存スルヤウナ意味ヲモ十分ニ缺クル所ナイヤウニ致シタ積リデゴザイマス、ソレカラ第二段ニ互リマシテ、本改正法律案ガ需要家ノ利益ヲ考慮シ得ル點ガ殆ドナイデハナイカト云フヤウナ御尋ネノヤウニ拜聽イタシタノデアリマスケレドモ、是亦私共ト致シマシテハ決シテ需要家ノ利益ニ付テ考慮ヲ拂ハナカッタナドト云フノデハ毛頭ナイノデアリマシテ、事業者ノ利益ト同時ニ又需要家ノ利益、寧ロ煎ジ詰メテ申シマスレバ、日本全國ニ如何ニシテ豊富デ、確實デ、低廉ナ電力ヲ供給スルコトガ出來ルカト云フコト、ソレハ即チ需要家ノ利益デアリマス、其コトヲ目處ニ

置イテ色ミナコトガ、其目的ニ向シテ出發イタシテ居ルトマデ、私共ハ申シテモ宜イ位ニ考ヘテ居ルノデアリマス、今少シク具體的ニ申シマスナラバ、御案内ノ通りニ此改正法案ノ骨子ト致シマス所ハ、事業ニ對シマシテ統制ノ方途ヲ開イテ置クト云フコトガ眼目ノ一ツニナツテ居リマスガ、統制ト申シマスノハ、私共ノ茲ニ期待イタシマス所ハ、電氣事業ノ設備ヲ最モ能率好ク運行ヲサセタイ、無駄ヲ除キタイ、設備ノ重複其他ニ依ル不經濟ト云フモノヲ出來得ル限リ排除シタイ、斯ウ云フコトヲ意味スルノデアリマシテ、斯様ナコトヲ考ヘマス目的ト云フモノハ、斯ノ如ク致シマシテ電氣事業ト云フモノノ最モ經濟的ナ基礎ニ立タシメルヤウニサセタイト云フコトニ、即チ目處ヲ置イテ居ルノデアリマス、ソレヲ考ヘマスノハ、直チニ斯様ニシテ經濟的ニナリマシタ效果ト云フモノガ、需要家ノ上ニ直チニ移ッテ行クト云フコトヲ表裏トシテ考ヘテ居ルノハ當然ノコトデアリマシテ、如何ニシテソレヲ其目的ノ通りニ、期待通りニ生カシムルカト云フ方法ニ付テノ考慮ガ全般ニ此法制ノ立前デ拂ハレテ居ル譯デアリマス、若シ設備ノ統制ガ出來テ、非常ニ經濟的ニ事業ノ運行ガ出來ルヤウニナレバ、事

業モ繁榮シテ行キ、基礎モ鞏固ニナツテ、順調ニ行クト云フコトニナリマシテ、此儘デ置キマシタナラバ、或ハ御説ノヤウニ需要家ノ利益ト云フコトニ考慮ガ足りナイト云フコトニナルカモ知レマセスケレドモ、斯様ニシテ設備ノ無駄ヲ排除シマスルト同時ニ、一方ニ事業ニ對スル監督權ト云フモノヲ十分ニ擴充イタシマシテ、今マデヨリ遙ニ進ンダ程度ニ於テ業務ノ監督ヲ致スノデアリマス、サウシテ一面ニ於キマシテハ、之ト並行イタシマシテ、料金ノ認可制ヲ、是亦改正法案ノ二大骨子ノ一ツトシテ掲ゲテ居ルノデアリマシテ、業務ノ適實ナル監督ト、料金ヲ極メテ公正妥當ナモノニ導イテ行クト云フ料金ノ認可制ト、此方法ヲ合セテ直チニ行フコトニ依リマシテ、事業ノ基礎ヲ鞏固ニシテ順調ニ發達サスト同時ニ、斯クシテ得ラレマシタ利益ト云フモノガ、直チニ業務ノ監督及料金認可制ノ運行ニ依リマシテ、需要家ノ頭ノ上ニ移ッテ行クト云フ、斯ウ云フ立前ト申シマスカ、組織ト申シマスカニ依リマシテ、此全體ノ構成ト云フモノヲ私共作ッテ居ル積リデアリマス、端的ニ申シマスナラバ、此法案ト云フモノハ寧ロ需要家ノ利益ヲ圖ッテ色ミノ方法ヲ如何ニスルカト考ヘテ居ルノダト申シテモ、

過言デハナイ位ニ、私共ハ信ジテ居ル次第デアリマス、左様ナ趣旨デアルト云フコトヲ御了解ヲ戴キタイノデアリマス
○子爵瀧脇宏光君 御尤ナ御説明ヲ戴キマシテ誠ニ満足デアリマス、ケレドモ、勿論此案ヲ御立デニナルニ付テ需要家ノ方ノコトモ御考ニナツタコトハ萬々承知イタシテ居リマス、併シ先程ノ御話デ利用者側ノ方ハ商工省ノ官吏、其他ノ官吏デ以テ之ヲ代表サシタト云フコトデ、是ハヨク事情ヲ知ッテ居ルカラト云フ御話デゴザイマシタガ、サウ致シマスルト云フト、電氣事業ト云フモノニ付テハ、遞信省ノ官吏ノ方ガ一番ヨク詳シク御存知デ、遞信省ノ官吏ガケデ、事業者ヲ御入レニナラナクテモ宜イト云フコトガ、同ジ論旨デ立ツデハアリマセヌカ、利用者側ノコトハ商工省ノ官吏デ分ッテ居ルカラ代表シテ出ス、電氣事業ノ方ハ遞信省デ監督シテ居ラレルノデアリマスカラ、遞信省ノ方ダケデモ宜カッタト云フ論ニナルガ、所ガ電氣事業者ノ方ハ事業者ヲ入レタケレドモ、利用者ノ方ハ人ガナイト云フ御話デゴザイマスケレドモ、ヨク御調べニナツタラ、電氣ヲ使ッテ居ル會社モ澤山アリ、ソレ等ニ適當ナ人が居ッタラウト思フノデアリマス、

明カニ大同電力トカ東電トカ云フ電氣ノ會社其代表者トスレバ直グ是ハ出來マス、事業者ノ方ハ色ミナ會社デヤッテ居リマスノデ電氣ダケヲ使ッテ居ル仕事デナイ仕事モヤッテ居リマスカラ分ラヌカモ存ジマスケレドモ併シ能ク御調ベニナリマシタナラバ矢張り此方代表者ニ相當ニ御調ベガ付クモノグラウト存ジマスソレデ私ハ希望ト致シマシテハ今後此電氣委員會ヲ御作リニナル此委員ノ中ニドウカ御調ベニナッテ需要者ト云フモノ方ノ是ハ官吏ノ方デナク全クノ事業者ノ方ノ代表者ノヤウナ方モ委員ニ御入レナサリ、御加ヘヲ願フテサウシテ能ク御論議ヲ爲サラムコトヲ希望スル次第ナノデアリマス、ソレカラ今八田委員ガ午後御用ガゴザイマスルサウデゴザイマスカラ私ハ途中デ打切りマシテ又後ニ御尋ネヲ致シタイト思フノデアリマスガ、今ノ御答ヘノ中ニ料金ヲ認可スルコトニスルカラ、高クナイヤウニ又會社モ立チ行クヤウナ料金デ以テ之ヲ許可シテ行クト云フ御話ガゴザイマシテゴザイマスガ此料金ヲ算定ナサルノハドウ云フ手續キデ以テ御算定ナサルノデゴザイマセウカチヨット御尋ネ致シタイ

又其基準ヲ定メルコトハ極メテ是モ至難ナコトト思フテ居リマスルガ、先ヅ遞信省ニ於キマシテノ基準ヲ定メマスル方針ト致シマシテハ原價計算ニ依テ發電費、送電費、配電費、營業費、公課等ノ實費ヲ嚴密ニ計上イタシマシテ消費電力「キロワット」當リノ原價ヲ算出イタシマシテ之ヲ料金ノ基本ト致シタイト思フテ居リマスル、尙ホ又附近事業者ノ料金トノ比較、事業者ノ沿革、經營成績ノ良否、及過去、現在、將來ヲ通ジテノ數字ノ關係等、諸般ノ具體的事情ヲ參酌ヲ致シマシテ、公正妥當ヲ期シタイト考ヘテ居リマス、之ヲ以テ先ヅ料金認可ノ基準ヲ定メタイト思ヒマス、併シソレモ大體此精神ニ於キマシテ出來マスル電氣委員會ニ諮問ヲ致シマシテ、サウシテ慎重審議公平ナル一ツ答申ヲ得タイト、斯様ナ考ヘヲ持ッテ居ル次第デアリマス

○子爵瀧脇宏光君 サウ致シマスルト云フト事業者ガ作ッテ居リマスル數字等ヲ基礎トシテ之ヲ御算定ナサルコト云フコトニナルト存ジマスルガ、其事業者ダケガ作ッテ居ル數字ヲ是ハ嚴密ニ御調査ナサイマスレバ分リマスコトデハゴザイマスルケレドモ其數字ヲダケヲ基礎ニスルバカリデアッテハ消費者ノ利益ヲ害スル虞レハゴザイマセヌデ

○國務大臣(小泉又次郎君) 御尤モノ御質問ト思フテ居リマス、其點ニ付キマシテ只今申上ゲマシタ通り此法文ニ依リマシテ會社ノ會計等ニ検査ガ出來ルノデアリマスルカラ唯會社ノ言分通りニ依リマシテソレヲ目標トシテハ必ズ標準ハ立テヌ積リデアリマス、遞信省デ確乎タル一ツ目標ヲ立テマシテ眞ニ其計算ニ合ウテ居ルカドウカト云フコトハ是ガ即チ極メテ嚴密ニ調査ヲスルト申上ゲマシタ次第デアリマスノデ、必ズ唯事業者ノ帳簿ニ依ッテ、唯表面ノミニ依ッテ計算ヲ致シマセヌ、必ズヤ其摺ム所ハ必ズ

摺ミマシテサウシテ是ガ適當デアルト云フ所ニ重キヲ置キマシテ標準ヲ定メタイト思フテ居リマス

○子爵瀧脇宏光君 私ハ是デ中絶ヲ致シマシテ八田君ニ御譲リ致シマス

○八田嘉明君 甚ダ恐縮デゴザイマスガ、二三質問ヲ途中デ御許シテ願ヒタイト思ヒマス、既ニ御質問ガアリ、又御當局ヨリ御説明ガアリマシタノデ大體私共全體ノ問題ニ付テハ御尋ネスルコトハ差控ヘタイト思フノデアリマスガ、其中デ之モ既ニ度々御質問ニナッタノデアリマスガ、尙ホ私了解ヲハッキリ致サヌ點ガゴザイマスノデ、此處デ御伺ヒ致シタイト思ヒマス其一ツハ只今瀧脇子爵ヨリ御尋ネニナリマシタ料金認可制度ニ關係シマシテ、區域獨占ノ問題ニ付キマシテ、是モ或ル程度マデ、私共ニ政府ノ御趣旨ノアル所ハ了承イタシテ居リマスルガ、之ヲ需要者側カラ見マスルト云フト、サウ云フコトガ果シテ適當デアリヤ否ヤト云フ議論モアリマセウシ、又事業者側ノ方カラ見レバ又反對ノヤウナ意見モアルカト考ヘルノデアリマスルガ、政府御當局ニ於カレテ此法案ヲ作リニナリマスル其本當ノ御趣旨ハ矢張り絕對的ノ獨占、區域獨占ト云フ御意見デゴザイマシテ、極メテ稀ニ例

外ヲ認メル、即チ特定ノ區域供給ヲ認メル
ト云フコトハ極メテ稀ナモノデアル、而シ
テ其場合ニハ只今御話ノ出マシタ電氣委員
會等ニ御掛ケニナルノデアリマスカト云フ
コトヲ……

○委員長(侯爵大隈信常君) 八田君失禮デ

スガ遞信大臣ハ豫算總會カラ頻リニ請求ガ
アルノデアリマスガ遞信大臣デナイト御困
リデスカ、政府委員デ宜シウゴザイマスカ
○八田嘉明君 政府委員デ私ハ宜シウゴザ

イマス……當分ノ間ハ一時其處ヲ認メテ置
イテ、併ナガラ世間ノ狀勢ヲ見ナガラ段々
ソコニ移テ行ク、其主義ニ近寄テ行クト
云フノデアリマスカ、或ハ此改正後ニ於
テ、最モ格段ナル左様ナル主義ヲ嚴密ニ守
ラレル、併シ無論極メテ稀ナル場合ニ於テ
特例ヲ認メル、而シテ其場合ニハ電氣委員
會等ノ茲ニ制度ガアリマスルカラ、左様ナ
モノニ掛ケルト云フ程度ノ、所謂嚴密ナル
モノデアリマスルカ、其點ガ衆議院ノ速記
錄ヲ拜見イタシマシテモドウモハッカリ致
サヌノデアリマス、又色ミ伺ッテ見マシデ
モ、其御趣旨ノアル所ヲ了承スルコトハ出
來マスケレドモハッカリ致シマセヌノデ、此
際甚ダ御迷惑デアリマスガ重ネテ簡單ニ御
伺ヒ致シタイ

○政府委員(富安謙次君) 御答ヘ致シマ

ス、區域ノ問題ニ付キマシテハ只今御言葉
ニアリマスルヤウニ、私共現在ノ日本ノ電
氣事業界ノ狀態ヲ能ク察シマシテ只今ノ發
達ノ階段ニ於キマシテハ區域ノ獨占ト云フ
コトヲ原則トスルコトヲ以テ適當トスルノ
デアアル、併ナガラ絕對ニ獨占ト云フコトヲ
以テシテハ今ノ業界ノ實情ニ於キマシテハ
尙ホ需給ノ圓滿ヲ期スルコトガ出來ズ、色
色ノ方面カラ見テ尙ホ支障ノアルモノト考
ヘナケレバナライ、然ラバ之ヲ如何ナル
方法ニ依リマシテ按配調和スル點ヲ何處ニ
發見スベキモノデアルカト云フコトニ付キ
マシテハ、今マデ許シマシタヤウナ重複ノ
區域ノ設定ト云フコトハ最早害アッテ益ナ
イモノデアルカラ、絕對ニシナイコトニス
ル、同ジ區域トシテモ特定供給ト云フ方法
ニ依テ、或程度範圍ニ於ケル絕對獨占ニ對
スル緩和ヲ圖ルト云フコトヲ以テ只今ノ實
情ニ適シタモノデアルト考ヘテ居ル次第デ
ゴザイマス、ソレデ極メテ嚴密ニ解スルノ
デアアルガ、又必ズシモサウデハナイノデア
ルカト云フヤウナ御尋ネニ對シテハムヅカ
シイ言葉ノ問題ニナッテ參リマスノデ、只今
申上ゲタヤウナ根本ノ方針ガ立ッテ居リマ
フル以上ハ、性質上之ヲ必要ノ最小限度ニ

止メテ運用スベキモノデアルト云フコトハ
勿論ノコトデアルト考ヘテ居リマス、唯其
運用ト云フモノガ段々業態ノ熟シテ參ルニ
進ミマシテ、運用ノ範圍ガ次第ニ狹マッテ行
クト云フヤウナ傾向ニアルカト云フコトハ
是ハ申上ゲルコトガ出來ルカモ知レヌト存
ジマスルケレドモ、只今ノ實情ニ於キマシ
テハ右申上ゲタヤウナ趣旨ニ於テ獨占ニ依
ル、絕對獨占ニ依リ尙ホ缺陷トスル所ヲ補
フ意味ニ於テ、特定供給ト云フモノヲ適當
ニ個々ノ實情ニ應ジ業界ノ變遷ヲ注視シツ
ツ運行シテ行クノデアルト云フコトニ御了
解ヲ御願ヒ致シタイと思ヒマス

○八田嘉明君 只今御説明下サイマシタ中

デ詰リ斯ウ云フ風ニ獨占區域ト云フモノヲ
原則トシテ認メルト云フコトデアアルガ、其
以後ニ於テモ相當例外ガアルト云フコトヲ
御認メニナッテ居ラレルヤウデアリマスガ、
然ラバ此料金認可制度ト云フコトニ對シ
テ、色ミ又御尋ネ致サナケレバナラヌノデ
アリマスガ、長クナリマスカラ其點ハ別ノ
機會ニ讓リマシテ斯ウ解釋シテ宜シウゴザ
イマスカ、即チ今マデト大體同ジヤウナコ
トデアッテ漸次ソレヲ獨占主義ノ純粹ナ獨
占區域ノ制度ニ段々持ッテ行ク、急激ニハ變
ハラヌ、斯ウ云フコトニ解シテ宜シウゴザ

イマスカ

○政府委員(富安謙次君) 大分御言葉ヲ如

何様ニ解釋イタシマスルカト云フヤウナコ
トニ問題ガ掛ッテ居ルヤウデアリマス、其邊
極メテ微妙デアリマスガ、デ、直チニ左様
デゴザイマスツカ、サウデゴザイマセヌト
云フコトニモキツカリシタ御返事ヲ致シ
兼ネル次第デゴザイマスガ、大體趣旨ノ存
シマスル所ハ、先程申上ゲタヤウナ點ニア
ルノデアリマシテ、今迄ト變ッテ居ナイカト
申シマスレバ絕對ニ獨占デハナイケレド
モ、重複區域ノ如キモノハ絕對ニ認メナイ
ノデアルト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、
最近ニ其方針ノ確立ト云フ一ツノ段階ガ
キツカリソコニ開カレタノデアルト云フコ
トヲ申シマシテ、御了解ヲ願ハナケレバナ
ラヌト思フノデアリマス、同時ニ又漸次ニ
進ンデ行クノデアアルカト云フ御言葉ニ對シ
マシテハ、是亦先程申シタヤウナ趣旨ニ依
テ特定供給ノ運用ト云フモノノ範圍ガ業界
ノ變遷ニ伴ヒマシテ動イテ行キ、次第ニ狹
マッテ行クト云フ點ニ於キマシテハ御言葉
ノヤウニ漸進的ト申シマスルカ、變動のノ
モノデアルト云フ點ガアルコトモ否メナイ
モノデアルト存ズルノデアリマス、言葉ガ
大變微妙ニナリマスノデ、甚ダ不得要領ナ

御返事シカ申上ゲラレナイコトヲ遺憾ト思ヒマスケレドモ、趣旨ノ存スル所ヲ御汲取リヲ願ヒタイト思ヒマス

○八田嘉明君 ハッキリ了解イタシ兼ネマスガ、御趣旨ノアル所ハ要スルニ最も弊害ノ少ナイヤウニ最小限度ニ止メルヤウナ風ニ其趣旨ノ下ニ於テ出来ルダケノ最善ノ手段ヲ講ズルト云フヤウナ風ニ私ハ了承イタシテ置キマス、只今ノニ關聯イタシマシテ、

斯ノ如キ特別ノコトヲ御ヤリニナルノニ電氣委員會ノ如キニ御諮問サレルノデアリマセウカ、先程モ電氣委員會ノ諮問ノ項目ニ付テ御尋ガアッテ御答ガアッテ、私ハ御同致シタノデアリマスガ、只今ノ如キ問題ハドウ御考ヘニナッテ居リマスカ

○政府委員(富安謙次君) 特定供給ト云フ

コトニ付キマシテ之ヲ電氣委員會ノ諮問事項ト如何ニ關聯シテ考ヘルカト云フ御尋ネニ對シマシテハ、私共ハ特定供給ノ許可ノ標準ヲ電氣委員會ニ諮問スルト云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレハ電氣事業調査會ニ於テモ慎重ニ御審議下サイマシタ結果左様ナモノヲ掛ケルベキモノデアルト云フ御意見ノ一致ヲ見マシテ、私モ亦之ニ同ジ考ヲ持ッテ居リマスノデ、答申ノ中ニモ特定區域ノ標準ニ關スル事項トシテ掲ゲラレテアルヤ

ウナ次第デゴザイマス、一々ノ許可ト云フコトデハアリマセヌガ、許可ノ抽象的ノ標準ヲ掲ゲ得ベキ限リ掲ゲマシテ、ソレヲ委員會ノ諮問ニ掛ケマシテ、御審議ヲ經タ上デ其標準ニ基キマシテ實際ニ運行為ヤッテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○八田嘉明君 只今御尋ネハ之ニ止メマシ

テ電氣委員會ニ付テ色々御尋ネガアリマシタガ、私モ同ジヤウナコトヲ御尋ネスルコトニナルカモ知レマセヌガ、私ハ法規ノ上ニ於テ電氣委員會ト云フモノハ所謂普通ノ何ミ調査會ト云フモノトハ違ヒマシテ、所謂「エクセプチブ、コンミイティ」ト云フヤウナモノニ近イノデハナイカト考ヘマスカラ、大變重要ノモノト考ヘルノデアリマスノデ、尙ホ念ノ爲ニ伺ヒマスガ、此三十二條ノ「電氣委員會ヲ置ク」ト云フノハ普通ノドウモ輕易ナル委員會ヲ置カルル如ク此條文ダケヲ見マスルト見エマスガ、併シ大臣ノ御説明等ヲ拜聽イタシマスルト、確ニ此電氣委員會ト云フモノハ重要ナルモノデアルト云フコトヲヨク了承イタシタノデアリマスガ、是ハ先程モ御尋ネガ有地男カラデアリマシタカアリマシタヤウニ、ナゼ是ニコトハ諮問ヲ要スルト云フ風ニ御制定ニ

ナラナカッタノデアリマセウカ、無論何ミヲ何ミスル爲ニ委員會ヲ置クト云フコトハ同ジヤウニ考ヘラレマスガ、例ヘバ是ハ官制ノ一條文ノ如ク見エルノデアリマス、何ミ委員會ヲ置クト云フコトハ法律ノ各條項ノ他ノモノト比較イタシマスルト何ミヲシナケレバナラヌト云フコトニ現ハレテ居ラヌノデアリマシテ、是ハ如何ナル理由デサウ

ナッタノデアリマスカ、例ヘバ一例ヲ申シマスルト鐵道會議ハ官制ニ依テ何ミヲ諮問スルトカ、諮問シナイトカ、建議ヲスルトカ云フコトハ條文ニアリマス、併ナガラ是ト對照イタシマシテ鐵道敷設法ナリ所謂鐵道ノ法律ノ中ニ第四項デアリマシタカ、三項デアリマシタカ是ニコトハ是非トモ鐵道會議ノ諮問ヲ經テ云々トナッテ居テ、經ナケレバナラヌコトニナッテ居ルノデアリマスガ、ソレト之ト對照イタシマスルト、ドウモ輕イヤウニモ、此條文ノ上デハ見エルノデアリマスガ、此點ニ付キマシテ、此委員會ヲ置クト云フ形式ヲ御執リニナッタノハ如何ナルコトデアリマセウカ、是ハ重複イタシテ居ルカト考ヘマスガ、是モ重要ト考ヘマスノデ伺ヒマス

○政府委員(富安謙次君) 御答申上ゲマ

ス、御言葉ノ御趣旨ノ存ジマスル所ハ誠ニ

御尤ナコトデアルト、私共モ存ジテ居ルノデアリマス、唯「置ク」ト云フ形式ヲ、何故此言葉ヲ選ンダカト云フコトニ付キマシテハ、御尋ネニモアリマシタヤウニ、必要諮問事項デアアル形ガ、形トシテ不適當デハナイカ、必要トシテ、諮問シナクテハナラヌ趣旨ガハッキリ現ハレナイヤウデハナイカト云フ御趣旨ニ對シマシテハ、私共ソコヲ考慮イタシマシテ、ソレヨリ輕ク扱フ、輕ク見エテモ構ハナイト云フヤウナ意味デ、

「置ク」ト云フヤウナ形ノモノヲ取ッタ譯デハナイノデアリマス、私共ノ考ト致シマシテハ度々御答辯申上ゲテ居ルヤウニ、所謂必要事項、ソレガ此三十二條ニ例示ニナッテ居ルモノノ如キノ趣旨デアリマシテ、「置ク」トアリマシテモ、此形ハ即チ是レノコトハ必要ニ諮問シナケレバナラナイノデアルト云フ意味デアアル、其言葉ニ至リマシテハ、斯様ナ場合ノ言葉ヲ極ク新ラシキ立法ニ於テ如何ナル風ニ用キルノヲ例トシテ居ルカト云フヤウナコトヲモ、彼レ是レ廣ク考ヘ合セテ見マシタ上デ、左様ナ審議ニ付テ責任ヲ持ッテ居リマス所トモ十分講究ノ結果、斯様ナ形ガ執ラレタノデアリマス、其精神意味ト云フコトニナリマスルト、御言葉ニアリマシタヤウニ、必要のノ

諮問事項デアルト云フコトニ此言葉ヲ以テ私共ハ解シタイ解スル積リデアルノデアリマスカラ、置クト云フ言葉ニ輕ク扱フタヤウナ意味ガナイ、ト云フ點ヲ御諒承ヲ御願ヒ致シタイデアリマス

○八田嘉明君 只今ノ御説明デ其御趣旨、所謂今後電氣委員會ナルモノヲ如何ニ重要サヲ以テ御取扱ニナルカト云フコトハヨク諒承イタシテ居ルノデアリマスガ、如何ニモ私ノ見ル所デハ、是ハ電氣委員會ヲ置クト云フソレダケガ、法律デ決メラレタヤウニ見エルト、是々ノ事項ハ電氣委員會ニ諮問シタ後デナケレバソレノ處分ガ出來ナイト云フ風ニハ、ドウモ是ハ取レナイト思フノデアリマス、從テ只今ノ御當局ハ左様ニ御解シニナルカモ知レマセヌガ、將來ハ是ハ如何様ニモ取扱ガ出來ルヤウニモ考ヘル、勿論其次ニ於テ「電氣委員會ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスカラ、其ノ方デドウ云フ風ニナルカモ知レマセヌガ、ドウモ是ハ官制ト同ジヤウデ、電氣委員會ヲ置クト云フコトハ法律デ決メラレル、其電氣委員會ニ諮問スルモノハ斯ウ云フモノデアアルガ、併シ必ズシモ諮詢シナケレバナラヌト云フコトガ、此條項ノ内容ノモノダケデハ現ハレナイヤウニ感ズル、

ソレデ第二十四條第一項、更ニ衆議院ニ於テ其他ノモノヲ御修正ニナリマシテモ、矢張り相變ラズ何ト申シマスカ、法文上ノ輕重ノコトハ何モ變リガナイヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ此點ハ意見ニナリマスルデ、私ハソレニ止メマスガ、要ハ電氣委員會ト云フモノヲ最モ重要ナモノト私共ハ解スルト云フコトニ諒承イタシテ置キマス、尙ホ此委員會ノ内容ニ付キマシテモ、皆サンカラ御尋ガアリマシタシ、既ニ私共諒承イタシテ居リマスガ、是ハ事業者ヲドウスルトカ、或ハ需要者ノ方ヲドウスルトカ、學者ヲドウ位ソレニ委員トシテ入レルカ、或ハ官吏ヲドウスルト云フヤウナ色ミナ内容ニ付テハ意見ガアルト考ヘマスガ、要スルニ是ハ統制ト云フ意味、即チ電氣統制委員會トデモ言フヤウナ意味ノ委員會ト、私ハ諒承イタシテ居リマスノデ、ドウカ是ハ希望デアリマスガ、政府當局ニ於カレマシテハ、此委員會ノ制定ヲナサル場合ニ於テ、此點ニ十分ニ御考慮ニナリマシテ、此條項ノ趣旨ニ最モ適當スルヤウナ風ニ御配置ニナラムコトヲ、私ハ希望ヲ添ヘテ、此委員會ニ關スルコトハ私トシマシテハ御尋ネヲ止メタイト思フノデアリマス、尙ホ御尋ネ致シタイコトガ、途中デアリマスカ

ラ、私ハ若シ別ノ機會ニモウ少シ御尋ネスルコトガ出來マスレバ御許シヲ願ヒタイト思ヒマシテ、一應之デ止メマス

○子爵瀧脇宏光君 先程ノ續キトシマシテ、チヨット御尋ネヲ致シタイト思ヒマスガ、今八田委員ノ御話ニモアリマシタ通り、此法案ニ依リマスルト云フト、原則トシテ獨占主義ヲ認メニナルヤウニ存ジマスガ、是ハ工業用ノ電力ニ付テモ、亦電燈即チ家庭用ノ電氣ニ付キマシテモ、兩方ニ付テ同ジク獨占主義ヲ原則トシテ御認メニナルノデゴザイマスカドウデゴザイマスガ、之ヲ御尋ネヲ致シタイト思ヒマス

○政府委員(富安謙次君) 御答申上ゲマス、只今御話ノアリマシタヤウナ家庭用ノモノハドウカ、工業用ノモノハドウカト云フ點ニ付キマシテハ、獨占ト云フコトト、御言葉ニアリマシタヤウナ用途トヲ關聯セシメマシテ、是レノモノハ獨占トスルガ、其以外ノモノハ獨占ノ原則ニ據ラナイナドト云フ風ニ、私共ハ考ヘテ居リマセヌ、等シク獨占ノ原則ヲ以テ參リタイト考ヘテ居ル、唯之ニ對シマシテハ電氣委員會ノ慎重ナル審議ニ俟テ特定供給ノ途ヲ開キマシテ、之ヲ調和按配スル捌ケヲ見出シタイト云フコトニ運用ヲ致シタイト考ヘテ居

ル次第デアリマス

○子爵瀧脇宏光君 是ハハッキリ覺ヘテ居リマセヌガ、私ガ聞イテ居リマス所ニ依リマスルト初メハ矢張り電氣ガ出來マシテ相當ノ間ハ獨占主義デアッタト存ジマスガ、所ガ多分野田遞信大臣ノ時デゴザイマシタガ、非常ニ電力ガ不足シタ結果、自由競爭主義ヲ執ルヤウニナッタト斯ウ存ジマスガ、其後丁度多分、犬養遞相ノ時代デアッタと思ヒマスガ、關東ニ非常ニ電力ノ大飢饉ガ參リマシテ、ソレト大同電氣、日本電燈、是等ノ東京送電線ト云フモノヲ此時分ニ許シタト心得テ居リマス、ソレカラ是ハマアドウ云フ譯デ斯ウ云フ飢饉ガアリマシタカト云フト、例ヘバ東電ガ配當本位デ色ミナコトヲヤツテ居タ爲ニ電力ガ不足シタ、其急場ニ間ニ合ハヌト云フヤウナコトデ、サウ云フコトニナッタト思ヒマスガ、其後ニ於テモ望月サン久原サンノ時代ニ名古屋ニ東電ヲ許可シタ、ソレカラ最近小泉サンガ大臣ニオナリニナッテモ、日本電力ニ東京附近ノ供給區域ヲ許可シテ居ル、是ナドハ極ク最近ノコトデ、サウ致シマスルト、獨占主義ヨリ自由競爭主義ノ方ガ宜イト云フコトヲ御認メニナッテデハゴザイマセヌカ、僅カ一年ノ間ニ獨占主義ガ宜イト云フコトニ變

テ來タヤウニ存ズルノデアリマスガ、是ハドウ云フモノデアリマセウカ

○政府委員(富安謙次君) 獨占デアッタリ、

又自由競争デアッタリ、主義ガ遞信省ト致シマシテグラツイテ居ルノデハナイカト云フヤウナ御趣旨ノ御尋ネデアリマスナラバ、決シテ左様ナコトデハナイト云フコトヲ申上ゲタイト存ジマス、唯獨占ト云フモノト、ソレカラ競争ト云フモノトハ、先程モチヨット申上ゲマシタヤウニ、電氣事業ノ發達ノ階級ニ應ジテ變遷ガアルベキ筈ノモノデアルトハ考ヘマスルノデ其意味ニ於キマシテハ動イテ參テ居ルノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ成程發達ノ初期ニ於キマシテハ電燈サヘモ或ハ獨占デアッタノガ適當デアッタ事實モ其當時アッタと思フノデアリマス、併シ乍ラ電燈ノ普及ト共ニ是ハ獨占ノモノガ自由競争ニナッタ時代モアル、次ノ時代ニナリマシテハ更ニ進ミマシテ小口ノ動力ト云フモノモ亦獨占デナクテハナラナイト云フコトニ狀態ガ進ミ、又右様ニ監督方針モナッタ譯デアリマス、次ノ時代ニナリマシテハ大口ノモノニ對シマシテモ更ニ獨占ト云フモノガ確立サレナケレバナラヌ時代ガアルト云フ風ニ業界ガ段々進シテ參ルト思フノデアリマス、又實際私共ノ方ノ監

督方針モ其立前ニ於テハ動イテ參テ居ルノデアリマス、ソレガ元ヘ歸テグラ／＼スルト云フ意味ニ於テハ決シテナイノデ、唯今申上ゲマシタヤウナ一定ノ理論ニ基キマシテ、又斯クアラネバナライノ所ノ理窟ニ基イテ動イテ參テ居ルノニ過ギナイト云フコトヲ御了承ヲ願ヒタイノデアリマス、此例示ニナリマシタヤウナモノハ如何ニモ獨占ト云フコトヲ前ニ言フタニ拘ラズ又之モ自由競争ヲ許シタカノ如ク一應世間ナドガ考ヘルカモ知レマセヌケレドモ、決シテサウデハナイノデアリマシテ、只今申上ゲマシタ業界ノ發達ノ階梯、ソレニ應ズル行政監督ノ方針ノ推移ト云フモノガ又ソレニ順應シテ居ル譯デハゴザイマスガ、御例示ノ事柄ノ如キハ大口ノ或ル制限ヲ持チマシテ制限以上ノ需要ニ對シマシテノミ而モ統制上ノ考慮ト云フモノヲ十分拂ヒツツ或ル重複ノ區域ヲ認メタノニ過ギナイノデアリマシテ、決シテ小口ノモノニ對シテ競争ヲサセヌトカ、又電燈ニ對シテ競争ヲサセヌトカ云フ趣旨デハナイノデアリマス、先程申上ゲマシタ大口ノモノガ將ニ獨占ニ固マラウト云フ其丁度時代ニ對スル行政ノ一ツノ現ハレナデデアリマシテ、斯様ニ段々階段ヲ重ねテ左様ニ處分ヲ行ッテ今日ニ參テ居

ルノデアリマスガ、モウ是以上ハ大口ト雖モ重複シテ許可セシメナイコトヲ適當トスルト云フコトニ今日ノ狀態ガナッテ居ルノデアアル、今日ノ狀態ニ立至ル前ニ二年カ三年前ニサウ云フヤウナ處分ノ例ガアッタ、其處分ハ只今申シマシタヤウナ趣旨ニ從ッテ左様ナコトヲ色／＼監督ヲ必要トスル、適當トスルト云フ行政ノ方針ニ基イタ處分デアッタト云フコトヲ御了承ヲ願ヒタイノデアリマス、方針ガグラツクト云フコトハ全然別デアルト云フ點ニ御了解ヲ願ヒタイノデゴザイマス

○子爵瀧脇宏光君 是ハ今ノ話ノ參考ニ戴

キタイノデゴザイマスガ、何カモウ御質問ナサレ或ハモウ御話ニナッタカモ知レマセヌガ、關東ニ於ケル供給會社ノ名トソレカラドノ位ノ電力ヲ供給シテ居ル、ソレカラ其供給區域ハ何處ト何處ヲ持ッテ居ル、ソレカラ現在ノ需要供給ノ狀態ガドウデアアル、所謂需要ガドノ位デアッテ供給ハ非常ニ多クナッテ居ル、過剰ガドノ位アル、之ヲ一ツ御知ラセテ願ヒタイ、ソレカラ續イテ關西地方ノ大阪、神戸、京都、此狀態、矢張り今ト同ジヤウナ會社及ビ供給量、供給區域、ソレカラ名古屋、是ダケヲ一ツ御知ラセテ願ヒタイト存ジマス、ソレト同時ニモウ一

ツドウモ最近電力量ガ非常ニ過剰デ餘ッテ居リマスヤウニ存ジマスガ、何十萬「キロ」ト云フヤウナコトヲ度々聽キマスガ、遞信省ノ御見込デハドノ位ノ今過剰ニナッテ居リマスガ、東電カラ發表イタシマシタ所ト遞信省カラ發表サレタ所ヲ數字ガ大分違フト存ジマス、又其外ノ電力會社デ調査イタシテ居リマス所ノ數字モ之モ違ッテ居リマスガ、遞信省トシテハドノ位ガ剩ッテ居ルト御認メニナリマスルカ、サウシテ又其過剰ハドノ位續ク見込デゴザイマセウカ、ソレヲ御伺ヒ致シタイ、ソレト同時ニ矢張りソレニ關係シマスノデ將來此發電力量ハドノ位マダ殘ッテ居リマスガ、其中ノ許可濟デアッテ今工事中ノモノ、之等ノ水利權、發電量ガ幾ラニナルカ、何年位ニ之ダケノモノガ出來テ來ルカト云フコトヲ一緒ニ御知ラセテ願ヒタイ午後デモ宜シウゴザイマス

○政府委員(富安謙次君) 御答申上ゲマ

ス、十分ニ只今御話シノアリマシタ點ニ副フコトガ出來マスルヤ否ヤ、如何カト存ジマスケレドモ、或ル程度ニ只今御話ノアリマシタ點ニ合致イタシマスルヤウ調書モ出來テ居ルモノガアリマスルシ、又後刻ト云フコトデアリマスレバ其御猶豫ヲ戴キマシタ時ニ於キマシテ出來マス限リノモノヲ整

ヘマシテ御覽ニ供スルト云フコトニ御了解ヲ願ヒタイト存ジマス、會社ノ名前ト云フヤウナコトニナリマスルト是ハ隨分程度問題デモアリマスルシ、細カク早急ノ調査ニイカヌカト思ヒマスケレドモ大體ノ趨勢ヲ御了解ヲ願フ程度ノモノヲ後刻御目ニカケルコトガ出來ルカト存ジマス

○子爵瀧脇宏光君 此處ニ戴キマシタ參考書ヲ色々見テ見マシタガ、今ノ點ガヨク分リマセヌノデ御尋ネ致シマシタガ、今ノ會社ノ名ト云フコトハ極ク小サナ關東ノ村ニゴザイマスヤウナ程度ノ會ノ名ナンカハ要ラナイノデアリマス、大口ノモノダケデ、大キナ電力ヲ供給シテ居ル例ヘバ東電デアルトカ、鬼怒川デアルトカ云フサウ云フヤウナ名ダケデ宜シウゴザイマス、ソレト同時ニモウ一ツ御願ヒ致シタイノハ、此電氣協會デ刊行イタシテ居リマス昭和六年一月ノ第十一回電氣事業概要ニゴザイマスコトハゴザイマスガ、此電氣會社ノ投下資本、此總額ハ分リマス、借入金モ總額ハ是デ分

リマスガ此借入金ノ中ニ外債ト内債トアル

ダラウト思フ、此中ノ外債ト内債、外債ガ幾ラデ其償還期限ハ何時デアルカ、内債ハ幾ラニナッテ居ルカ大キナ會社ノ大キナモノガ分リマスレバ其期限ガ何時ニナッテ居

ルカ、サウ云フコトハ是ハ今度デナクテモ宜シウゴザイマス、何時デモ宜シウゴザイマスガ、若シ戴ケマシタナラバ御調べ置キヲ願ヒタイ

○内田嘉吉君 只今瀧脇子爵ノ御尋ネニ關聯イタシマシテ、私モ御尋ネシテ是ハ今日デナクトモ後デモ宜シウゴザイマスガ、今御話ノアツク電氣協會事業概況ノ中ヲ見マシテモゴザイマセヌガ、凡ソ日本ノ發電水

力ノ發電ニ對スル費用ト云フモノガナカナカ高イ、亞米利加ナドハ割合ニ大變安

クテ日本ハ高イ、或ル場所ナドデハ五百圓以上六百圓、其以上ニモ上ッテ居ル所ガアルヤウデアリマス、斯様ナコトハ要スルニ此電力料金トカ、電燈ノ料金トカヲ極メルノ

ニ大變關係モアリマスノデ一般的ニ御示シニナッテ置イテモ差支ナイコトカトモ思ヒマスガ、若シ何カ書類ガゴザイマスレバ頂戴イタシタウゴザイマス、書類ガナケレバ御調べノモノヲ委員ニデモ御廻シ願ッテ參

考ニ供シタイト思ヒマス、是モ只今直グト云フ御註文デハゴザイマセヌ

○政府委員(富安謙次君) 承知イタシマシタ、尙ホ先程御尋ネガアリマシタ社債ノ額等ニ關係スル點デアリマスケレドモ、昭和

四年末ノ調査デアリマスレバ、社債ノ額ト、

此中外債ガドレダケアルカト云フコトニ付テノ數字ハ茲ニ持ッテ居リマスガ、昭和四年末デハ如何デゴザイマスカ

○子爵瀧脇宏光君 ソレデ結構デゴザイマ

スガ、外債ハ五年ニハ出來テ居リマスカ、出來テ居ラヌダラウト思ヒマスガ、日本電力ノヤツハ出來マシタカシラ、出來テナイトスルト矢張り四年末ト同ジデゴザイマセ

ウ

○政府委員(富安謙次君) アレハ出來テ居リマセヌ

○子爵瀧脇宏光君 ソレデハ昭和四年末ノモノデ結構デス

○政府委員(富安謙次君) 茲ニ斯ウ云フ社債額ノ調べト云フ昭和四年末ガ、總資本金、固定資本、拂込資本、借入金、社債、其中外債ガ幾ラト云フ、是ダケノ項目ナラバ數字ヲ持合セテ居ルノデアリマス

○子爵瀧脇宏光君 ソレデ結構デゴザイマ

ス

○政府委員(富安謙次君) サウシマスト借入金ガ六億八千八百万圓、又社債ガ十四億四千三百八十万圓、此中外債ガ三億三千八百八十萬圓餘デゴザイマス、ソレカラ固定資本ガ四十四億七千八百萬圓、拂込資本ガ三十億九千九百萬圓、總資本金ト致シマシテ三十

九億八千四百萬圓、斯様ナコトニナッテ居リマス、ソレガ四年末ノ調べニナッテ居リマス

○内田嘉吉君 何レ速記ニハ載ルデアリマ

セウガ、近頃委員會ノ速記ハ非常ニ遅レルノデ、遅クデナケレバ見ラレマセヌカラ、只今政府委員カラ御讀上ニナリマシタ御調べハ成ルベク速ク刷ッテ配付願フト、大變好都合ト存ジマス

○政府委員(富安謙次君) 承知シマシタ、後刻直チニ御配リ致シマス

○子爵瀧脇宏光君 ソレデハモウ少シ今ノ先程ノ續キヲ御尋ネシタイト思フノデアリマス、今ノ材料ガ出來マシテカラ、具體的ニ關東、關西ノコトニ付テハ御尋シタイト

思フノデアリマスガ、其前ニ大體論トシマシテドウモ私考ヘマスノニ、公衆用ノ電氣……先程來度ニ申上ゲマスノデスガ、例

ヘバ電燈デアアルトカ「ヒーター」デアアルトカ、電氣「ファン」デアアルトカ、サウ云フ公衆ノ日常生活ニ必要ナモノ、若クハソレニ

準ズルヤウナ、所謂公共的ノ需要ニ屬スルモノト云フモノハ、原則トシテ獨占ヲスル

ノガ宜イ、即チ事業者ハ其色ミナ嚴重ナ命令ヲ下サレタ所ノ電氣網ヲ張ルヤウナコト

モシナケレバナリマセヌシ、從ッテ之ヲ獨占サ

セルト云フト二重投資ノ弊カラ救ハレマスカラ、是ハ非常ニ結構ダト存ジマスガ、ドウモ此動力ノ方、所謂産業用ノ大キナ動力、或ハ産業用ノ大口ノ電熱等ト云フモノハ今ノ公益ニ關スルモノト云フヨリ即チ單ニ公益ダケト云フモノデハナイト思ヒマス、一般日用ノ需要ト異ナッテ、少數ノ生産者ノ特殊ノ需要デアル、必シモ斯ウ云フ公共事業ニ屬スル性質ノモノト云フコトハ出來ナイト存ジマス、ソレデ斯ウ云フモノハ先程モ申上ゲマシタ通り供給ノ條件、供給料金、ソナモノヨリモ各目ノ用途、使用狀態、其他供給ノ電熱等ノ關係ニ依リマシテ千遍一律ニハ行キマセヌノデ色ミ變タ料金モ算定シナケレバナラヌモノドラウト存ジマス、斯ウ云フモノハ一體獨占サシテシマウト云フコトハ、其必要モナケレバ或ハ却ッテ色ミナ弊害ガ生ズルノデハナйкаト思フ、例ヘバ需要者ト云フモノノ立場カラ考ヘテ見マス、ドウシテモ高イ料金ヲ出シテ使ハナケレバナラヌト云フヤウナコトニナルノデハナйкаト存ジマス、例ヘバ私が知ッテ居リマス、或ル工場ナドニ於キマシテハ、外カラ電力ガ取レナイ、若シ安イ電力ガ買ヘレバ一年ニ約三十万圓モ直グ違フト云フヤウナ工場ガ澤山アル、斯ウ云フモノハサッ

キノ特定供給デゴザイマスカ、ソレデ調節シヤウト云フ御話デゴザイマスケレドモ、サウ云フモノニ付テハ原則トシテ獨占デナクシテ御ヤリニナル方ガ本當デハナйкаト存ジマス、斯ウ云フ不便ガアル爲ニ、所謂最近ニ至ッテモ日本電力ニ許ス……小泉サシガ大臣ニナッテカラモ許スト云フヤウナ狀態ニ至ッタノデハナйка、斯ウ存ジマスノデスガ、此點ハモウ昔ニ還ッテ獨占主義デ宜シイ、此法律ガ出來レバ統制ガ出來テ何等ノ弊害モ起ラヌシ、需要者ノ爲ニモナル、斯ウ云フ御見込デゴザイマセウカドウカ、誠ニ諄イヤウデアリマスケレドモチヨット伺ヒマス

○政府委員(富安謙次君) 御答申上ゲマ

ス、公共用等ノ電力ニ對シマシテノ御話ノアリマシタ點ハ私共モ御話ノ趣旨ト同ジヤウニ考慮シテ居ルノデアリマシテ、之ニ對シマシテ考慮ヲ致ス必要ガアルト云フコトハ大イニ私共モ頭ヲ悩シテ居ル問題ナノデアリマス、如何様ニシテ御話ノ御趣旨ノヤウナ點ニ付テ満足ヲ期シ得ルカト云フコトニナリマス、之ヲ區域ヲ重複シテ居ルト云フヤウナコトニ依リマシテ行フト云フコトハ先刻申上ゲマシタヤウニ最早不可……不利デアルト云フコトニ私共ハ考ヘテ居ル

ノデアリマスケレドモ、他ノ方法ニ依リマシテ御趣旨ノヤウナ目的ヲ遂ゲ得ルヤウニ考ヘル必要ハ大イニアルト思フノデアリマス、ソレハ主トシテ料金政策ト云フ上ニ於キマシテ相當ニ考慮ヲ拂ハネバナラナイト存ズルノデアリマス、其點ニ付キマシテ少シク私共ノ存寄リヲ申述ベサセテ戴キマスナラバ、先程モ申シマシタヤウニ私共ガ設備ノ統制ヲ云々イタシマスノハ全ク斯ク致シマシテ此電氣ノ生産ノ原價ヲ安イモノニシタイ、サウシテ其利益ヲ需要者ニ及ボシタイ、斯ウ云フ趣旨カラ出發イタシテ居ルノデアリマス、諸テ斯様ナ趣旨カラ出發イタシマシテ統制ヲ致シテ其電氣ノ原價ヲ引下ゲルコトガ出來タラ、其出來タ所ノ値下リヲ如何様ニ需要者ニ割振ッテ行カト云フ問題ニ付キマシテハ料金政策トシテ相當ニ考慮ヲ拂ハナケレバナラナイ問題ダト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、其方法ノ中考ヘ方ト致シマシテハ、斯様ナ値下リノ利益ト云フモノヲ其儘總テノ需要者ノ上ニ均分ニ割當レルト云フコトモ是亦一ツノ方法デハアリマセウ、併シ又電力ノ種々ノ利用關係ヲ技術的、經濟的ニ計算イタシマシテ、此種ノ用途ニ充テルモノト他ノ用途ニ充テルモノト云フヤウニ區別イタシマシテ、ソ

レゾレノ需要ニ對シマシテ只今申シマシタヤウニ原價ノ値下リト云フモノヲ比例的ニ下ゲテ行クト云フノモ、理論トシテハ最も合理的ナ方法デハナйкаトサヘ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、實際ノ動キト云フコトニ考ヘテ見マス、新シク起リマシタ需要ト云フモノニハ安イ料金ガ行ハレテ居リマスシ、大口ノ需要ト云フモノハ他ノ種ノ動力ニ代ッテ利用ガ開拓サレタノデアルト云フ譯合カラ致シマシテ、矢張り格安ノ料金ト云フモノガ行ハレテ居ルノデアリマス、生産的ノ方面カラ考ヘテ見マス、云フト、斯様ニ今日ノヤウニ一般財界ノ沈衰イタシテ居リマスル際ニ對スル産業對策ト致シマシテ、之ヲ復興セシメルヤウナ氣運ヲ促進イタシマスガ爲ニ、或ハ産業動力ト云フヤウナモノニハ先ヅ低廉デ豐富ナ電力ヲ供給イタシマスルコトニ力ヲ集中スルコトガ宜イト云フヤウナコトモ考ヘラレルノデアリマシテ、左様ナ風ニシナクテハナラナイモノデハナйкаトサヘ私共ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、即チ電氣事業ノ基礎産業トシテノ使命ト云フヤウナコトヲ十分念頭ニ置キマシテ今日ノヤウナ非常ナ經濟界ニ處シテ十分ニ遺憾ナキコトヲ期シタイト云フ風ニ私共ハ進ンデ行クベキ途ヲ考ヘテ

居ル次第ナンデアリマス、現在實地算定サレテ居リマス料金ノ原價ニ對スル調査ガ十分出來マシタ上各方面ノ需要、御話ガアリマシタヤウナ工業用ノ大需要、若クハサウデナイ小口若クハ電燈等ノ需要、各般ノ需要家ノ要求ヲ十分ニ代表スルヤウナ者ノ意見ヲ篤ト聽キマシタ上ニ、先刻申上ゲタヤウナ料金政策上ノ見地カラ致シテ御話ノアリマシタヤウナ工業用ノ電力ト云フヤウナモノニ付テ篤ト考慮ヲ拂ヒマシテ進ンデ行キタイト考ヘテ居リマス、御説ノ點ニ付キマシテハ當局トシテモ十分ニ考慮ヲ拂ヒテ居ルノデ將來モソレニ對シテ遺憾ナキ時期シタイト云フ考デアルト云フコトヲ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○子爵瀧脇宏光君

ドウモ獨占サセマスト云フト事業家ガドウシテモ横暴ニナリ易イモノドラウト存ジマス、サウシテ電燈ダトカ、サウ云フ社會一般ガ需要者デアリマスカラ之ニ對スル高イ料金ヲ取ルト、今ノ時節デハ社會問題ニナッテ、所謂國民大會ノヤウナモノヲ催ウシタリ、値下ゲノ演說會ヲ催シテ、之ニ監視監督ガゴザイマスガ、大口ノ電力ノ方ニナリマス、其需要者ハ極ク少數ノ工業者デ、之ニ對シテハ直グサウ云フ民衆カラ反對ヲスルト云フコトモシ

ナイ、從テ一向横暴デアルト云フコトヲ之ヲ懲ラスト云フ方法ガナイ、演說會ヲ開ク譯ニモ行カスト云フテ電力等ガ高イト其處デ出來マス工業品ハ從テ値段段ガ高ク付クノデ、民衆ニ對シテハ高イモノガ供給サレルコトニナリマスノデゴザイマスケレドモ、サウ云フ點ニハ一寸表面上氣ガ付キマセヌノデ、ドウシテモ横暴ニナッテソレヲ泣寝入りヲシテ居ナケレバナラヌト云フ狀態ガ度ミゴザイマス、ソレデゴザイマスカラ斯ウ云フノモ合理的ニ其料金ヲ下ゲサシテ需要者ニ對シテモ非常ニ公平ニ行ク、ト云フト需要者ガ非常ニ助カルト云フノハドウシテモ大口電力、産業用ノ電力ニ付テハ各會社競争ヲシテ會社自體カラ所謂競争合フト云フコトガ一番合理的デハナイカ、是ガ動力ノ方デアリマスソレダケ安全設備ヲシロト云フ様ナコトモゴザイマセヌカラ、二重投資ト云フ弊モノイ、又一方カラ言フト大口ノ電力ヲ要スル所ハ六大都市カ、大抵ハ六大都市ノ近所デアリマス、ソレデアリマスカラ其近所ダケデアッテ都會ノ地域外ニハ出テ居リマセヌカラ、獨占ニ對スル例外トシテモ是ハ大シタ大キナ例外ニハナラヌノデアリマスカラシテ、考慮シナクテモ斯ウ云フモノハ獨占デナクシテモ宜イコトダト思ヒマス、

一例ヲ申シマシテモ産業用ノ動力ニ對シテ獨占ノ例外ヲ認メタ場合ニ於テハ供給上ノ施設ダトカ「サービス」ガ宜クナッタ、又料金ガ低廉トナルコトハ御承知ノ通り阪神地方、名古屋地方ニ於テ幾多ノ實例ガ證明シテ居ル、此點ヲ何カモウ少シ御考ニナル方ハナイカ斯ウ存ジマス、

○政府委員(福田五郎君)

御答申上ゲマス、重ネテノ御言葉デゴザイマスケレドモ私共ハ先程申上ゲマシタヤウニ電氣事業ト云フモノ、基礎産業トシテノ使命ト云フコトニ付キマシテハ十分考慮ヲ拂ヒテ居リマス積リデアリマス、動力用ノモノ、工業用ノ大動力ノ如キモノノ値下ゲヲスル所ノ意義ガ如何ナルモノデアルカ、價值ガ如何ナルモノデアアルカト云フコトニ付キマシテハモウ十分承知ヲ致シテ居ル積リナノデゴザイマス、料金廉價ノ上ニ於キマシテ篤ト考慮ヲ致シマシテ御趣旨ニ副ハナイヤウナコトノ万ナイコトヲ期シタイト存ズルノデアリマス、施設ヲ重複サシテモ良キ結果コソアレ、悪い結果ハ大口ノモノニ付テハナイノデナイカト云フ御考ニ對シテハ御言葉ヲ返ヘスヤウデアリマスケレドモ、今日ノ電氣事業界ノ實情カラ考ヘレバ最早此上ニ施設ノ重複ヲ假令工業用ノ電力ノ爲メノ大需

給ニ對スルノミト致シマシテモ之ヲ許可致シマスルコトガ色ミノ弊害ヲ伴ヒマシテ、結局設備トシテノ二重重複ト云フモノヲ來タシ、其能率ト云フモノガ十全ノ發揮ヲ致サナイト云フコトニナリ、國家的ニ見マシテ不經濟デアリ、資本ノ不生産的ナ使用ニナルト云フ結果ニナルコトガ非常ニアルト思ヒマスルノデ、寧ロ他ノ點即チ料金政策其外ノ點ニ於テ遺憾ナキ時期スルヲ以テ適當デハナイカト私共ニ於テハ考ヘテ居ル次第デアリマスルカラ、私共ノ考ノ存スル所ヲ申上ゲテ置キマス

○委員長(侯爵大隈信常君)

ドウデスカ、是デ休憩イタシマシテ午後二時カラ開會イタシマス

午後零時一分休憩

午後二時三分開會

○委員長(侯爵大隈信常君)

ソレデヤ是ヨリ午前ニ引續キマシテ開會ヲ致シマス、瀧脇君御質問ヲ御續ケニナリマスカ

○子爵瀧脇宏光君

先程ノ續キハ材料ヲ戴キマシテカラ致シマスコトニ致シマシテ、チヨット別ノコトヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、ソレハ此新規事業ノ解釋ヲ一應明確ニ伺ッテ置キタイト思ヒマスノデゴザイマスカ、衆議院ノ方ノ速記録ヲ讀ンデ見マシ

テモ、ドウモハキリ致シマセヌノデ、前ニ誰カ御尋ネニナツタ方ガ此委員會ニモアリマスカ知レマセヌデゴザイマスガ、重複イタシマシタラ誠ニ相濟マヌ譯デゴザイマスケレドモ、モウ一應ハキリト御尋ネヲ致シテ置タイト思ヒマス、例ヘバ今迄東電カラ千「キロ」ノ電力ヲ買テ或仕事ヲシテ居タ工場ガアリマシテ、是ガ昭和六年ノ三月二十三日ニ滿期ニナツタ、ソレデ矢張り明日カラ電力ガ要ル、此電力ヲ外ノ會社カラ買ヒタイ、東電ハ高イカラ外ノ會社カラ買ヒタイト云フヤウナ場合ニ、是ハ新規事業ト御認メニナリマスノデゴザイマスカドウデゴザイマスカ、御尋ネヲ致シタイトアリマス

○政府委員(富安謙次君)

御答ヘ申シマス、新規事業ト云フコトガ問題ニ上リマシタノハ、最近ト申シマシテモ、茲ニハ昭和三年ノ末デゴザイマスルシ、後ニハ昭和四年九月デゴザイマスルシ、此二回ニ於キマシテ制限馬力デ重複供給ヲ許シマシタ際ニ或大キサノモノハ新規事業ニ限テ之ニ供給スルコトヲ認メルノダト云フ條件ヲ附シタノデアリマシテ、ソレカラ新規事業ト云フコトガ問題トサレタノデアリマス、其條件ヲ新規事業ト云フ言葉ヲ附シマシタ際ニ於キマシテハ、只今御尋ゲニナリマシタヤウナ

契約ガ滿期ニナツタ場合ニ舊事業者ヲ止メテ新事業者ニ乗替ヘルコトヲ新規事業ノ中ニ含マセルカ含マセナイカト云フコトニ付テハ文字上含マセル意味ニ考ヘテ當時條件ヲ附シタ譯デハアリマセヌデシタ、從ヒマシテ新規事業ト云フ言葉ノ中ニ左様ナモノガ入テ居ルカドウカト云フ御尋ネデアリマシタナラバ、言葉ノ中ニハ私共ハ含メテ考ヘテ居リマセヌデシタト云フコトヲ申述ベネバナリマセヌノデアリマス、言葉ニ含マセナイト云フコトハ別トシテ、實際問題トシテ契約ノ滿期ニナツタ場合ニドウ扱フノカト云フコトハ常ニ起テ居ル問題デアルカラ、解釋問題ハ別トシテ其場合ニ如何ニ取扱フノデアアルカト云フコトノ御尋ネデアリマシタナラバ、ソレハ私共ハ斯様ニ考ヘネバナラヌト考ヘマス、只今申上ゲマシタ二ツノ例ニ於キマシテ、新規事業云々ト云フ條件ヲ附シマシタノハ、重複區域ヲ許可イタシマスルニ付キマシテ、若シ之ニ十分ニ適當ナ條件ヲ附スルニアラザレバ、競争ノ結果ハ、非常ニ望マシクナイヤウナ程度ニ迄自然激成シテ行ク虞レガ大分アルト云フコトヲ、理窟ノ上カラモ過去ノ事實ニ見マシテモ私共ハ苦イ經驗ヲ持テ居リマスノデ、之ヲ防遏スルト云フ趣旨ニ於テ色ミナ

條件ヲ附シタ、其條件ノ一ツガ新規事業ト云フコトデアリマス、或ハ料金ニ付キマシテ幾ツモ條件ガ附イテ居リマス、或ハ事業ニ於キマシテモ新規デアアルコトニ限ルト云フ條件ガ付イテアリマス、或ハ又事業ノ馬力ノ大キサニ付キマシテモ何馬力以上ニ限ルト云フヤウナ條件ガ附サレマシテ、斯ク色ミナ條件ヲ以チマシテ重複區域ハ許スケレドモ、許ス趣旨ガ達セラレルニ十分デアツテ、ソレ以上ニ望マシクナイヤウナ競争ニ迄行クコトヲ防遏スル所ノ範圍ニ止メテ置キタイト云フ、趣旨精神ヲ以チマシテ色ミナ條件ガ付イテ居ルノデアリマスカラ其趣旨精神ヲ全體ノニ考慮イタシマシテ、個々ノ場合ニ……此契約ガ滿期ノ場合ニ新シキ事業者カラ供給ヲ受ケシメルコトガ、全體ニ附シタ條件ニ合致スルカシナイカト云フヤウナコトヲ、一々諸般ノ情況ヲ綜合調査イタシマシタ上デ、適當ニ判斷ヲ下シテ是ハ全體ノ條件ノ趣旨精神ニ反スルカラ認ムベキデハナイ、又此場合ニハ認メテモ條件ノ趣旨精神ニ反シナイト認メルト云フヤウナ風ニ判斷ヲ、具體的ノ場合ニ付テ下サナケレバナラナイ、左様ナ方針ニ從ヒマシテ個々ノ處理ニ委シテ行キタイ、斯様ナ考ヲ私共ト致シマシテハ持テ居ル次第デ

アリマス

○子爵瀧脇宏光君

サウ致シマスルト云フ

ト、他ノ色ミノ條件ト云フノハ別デゴザイマスガ、例ヘバ新規事業ニ限テハオ前ノ所モ供給シテモ宜イト云フ條件ガ付イテ居リマシタトスルト、其新規事業ト云フコトニ付テモ其時期ニ會社ガ個々ノ具體的ノ場合ニ於テ異ナル、斯ウ云フ御解釋デゴザイマス、衆議院ノ豫算分科會デ以テ、新規事業ト云フノハ新ラシイ事業デ、新規事業ト云フノデアツテ、是ハ明ラカナコトデ、從來繼續シテヤッテ居テ、期間ガ満了イタシタノハ、ソレハ新規事業トハ認メナイト云フコトヲ、ハッキリ衆議院ノ豫算分科會デ言テオイデニナルサウデアリマスガ、サウスルト今ノヤウナ、私ノ御尋ネ致シタヤウナ場合ハ、新規事業トハ認メナイ、斯ウ云フコトニナリマスノデスカ

○政府委員(富安謙次君)

御答申上ゲマス

ガ、私ノ言葉ガ至リマセヌデシタガ爲ニ、或ハ御了解ヲ十分ニ得ルコトガ出来ナカタカト存ジマスガ、新規事業ト云フ文字ノ解釋如何ト云フコトニナリマスナラバ、衆議院ニ於テモ先程申上ゲマシタ通りニ全然新タニ生ジタル事業、更ニ増加ヲシタル事業、一旦期限満了ノ結果消滅シタル事業ニ

シテ再ビ生ジタモノ、斯様ナモノヲ觀念ト致シマシテ、新規事業ト云フ言葉ヲ以テ私ハ表現イタシタ次第デアリマス、只今御例示ニナリマシタ事柄ハ、新規事業ト云フ言葉ノ中ニ這入ルカ、這入ラヌカト云フコトニナレバ、其言葉ノ中ニハ關聯ヲ持テ居ナカッタト云フコトヲ、前ニモ御答申上ゲ、今日モ左様ニ存ジテ居ル次第デアリマス、別ノ問題ト致シマシテ、契約満期ノ場合ヲ如何ニ取扱フノデアルカト云フ新ナル御尋ネト致シマシテ、御答ヲ先刻ノヤウニ申上ゲタ次第ゴザイマス

○子爵瀧脇宏光君 サウ致シマスルト先程御尋ネ致シタヤウナ場合ニハ新規事業ト認メヌ、期限ガ來タモノハ繼續ヲ認メ他ノ會社ト契約スルコトハ出來ナイトハ、キリスウ御解釋ニナッテ居ルノデアリマセウカ

○政府委員(富安謙次君) 御答申上ゲマ스가、左様ナ次第デアリマセヌ、尙ホ私ノ言葉ノ至リマセヌ爲ニ御了解ヲ得難イヤウデアリマスガ、個々ノ場合ニ處シテ一々判斷ヲ下ダス、何ニ依ッテ判斷ヲ下ダスカト云フト、附セラレタ條件總テノ趣旨精神ヲ汲ンデ、之ニ鑑ミテ不當ノ競争ヲ防止スルト云フ趣旨ニ背反スルノデアルカ、背反シナイノデアルカト云フコトニ從ッテ、背反シナ

イ場合ニハ、契約満期ノ場合デモ新ラジイ事業者カラ買フコトヲ無論認メルノデアリマスルシ、又之ニ反シマシテ附シタ條件ノ趣旨精神ニ反スルヤウナ場合ハ、契約満期ノ場合ニ新規事業者カラ買フコト云フコトガ認メラレナイト云フ結果ニナル、斯様ニ申上ゲタ次第デアリマス

○子爵瀧脇宏光君 ドウモ此速記録ヲ讀ンデ見マシテモ今ノ御答辯ヲ度ミ聞イテ見マシテモ、是ハドウモ分リ兼ねマスガ、實ハ八田君カラ頼マレテ、八田君モドウシテモ是デハ分ラヌト云フコトデ、御聞キシタノデスガ今ノ御答辯デ益分ラナクナッタガ、是ハ色ミノ御事情モゴザイマセウト思ヒマスカラ、此程度デ打切ッテ置キマシテ、其次ニハ此電氣事業法第一條ノ第二ニ「一般運送ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ノ動力ニ電氣ヲ使用スル事業」ト云フコトガ這入ッテ居リマスガ、是ハ終リノ方ノ何條カニ、自家用云々ト云フ條文ガ確カアッタと思ヒマスノデ、是ハ御拔キニナッタラドウデゴザイマセウカ、斯ウ云フコトニナリマスルト云フト、鐵道ト云フモノハ電氣事業法ノ監督ヲ受ケ、所謂遞信大臣ノ指揮監督ヲ受ケナケレバナラヌシ、又鐵道省ノ監督モ受ケナケレバナラヌト云フヤウナ二重ノ監督ヲ受ケ

ルヤウナコトニナリハ致シマセヌカ

○政府委員(富安謙次君) 御答申上ゲマス、第二號ヲ置キマシタ趣旨ニ付キマシテハ午前ニ御答ヲ申上ゲマシタ通りニ、電氣鐵道又電氣軌道ト云フ色ミノモノニ對シマシテモ、公共ノ利益ニ關係スル重要性ト云フモノカラ考ヘマシテ、注意ヲ與ヘル必要モアリ又交通ノ安全ヲ確保スルト云フ意味ニ於キマシテ之ヲ一般公共事業ト同ジヤウニ取扱フ必要ガアル、又今マデヨリモ更ニ進ンデ廣イ全國的ノ統制ヲ致サウト云フ以上ハ現行法以上ニ愈、斯様ナモノヲ電氣事業法ヲ以テ律スル必要ガアル、更ニ進ンデ申シマスレバ、是等ヲ工作スルコトガ、其規模其性質等ニ鑑ミマシテ他ノ各種ノ事業ニ及ボス關係等モ考慮イタシマスレバ以下電氣技術者ノ監督ヲ致スト云フ必要ガアルト云フ斯様ナ趣旨ヲ以チマシテ第二號ノ中ニ加ヘタト云フコトヲ午前ニ申上ゲタノデアリマス、自家用ト云フヤウナモノヲ以チマシテハ之ニ對スル電氣事業法ノ適用セララル、程度、ソレカラ又羈束シマス範圍ト云フモノハ稀薄デアリマスノデ實用ニ合ハナイト云フ趣旨ヲ以チマシテ第二號ヲ入レマス結果、只今御話ノアリマシタヤウナ鐵道トノ關係ガドウナルカト云フト、他ノ言葉

ヲ以テ申シマスレバ、二重ノ監督ヲ受ケルコトニナリ、事業者モ迷惑デアラウシ、又監督ノ體制ト致シマシテモ適當デナイデハ御尤ノコトトハ存ジマスルケレドモ、亦其點ニ付テ如何ニ之ヲ處理スルカト云フコトニ付キマシテハ私共ト致シマシテモ慎重ニ講究ヲ致シマシテ、關係ノ事業者ノ監督廳デアリマス鐵道省トノ間ニモ、兩者ノ間ニ無用ナ二重ノ監督ヲ重ネルト云フコトニナラナイヤウニ又必要ナ程度ニハ御互ニ扞格ヲシナイ程度ニ於テオ互ノ行政分野ニ於テ監督シテ行クヤウニ、兩者ノ分界ト云フモノニ付キマシテ特ニ講究ヲ遂ゲマシタ、此條項ニ對シマシテモ鐵道省ガ此意味ニ於テ此程度ノ監督ヲスルノデアル、又此事項ニ對シマシテハ遞信省ガ電氣ト云フ立場カラ此程度ノ監督ヲスルノデアルト云フ所ノ分界ヲ、ハッキリ決メテ、事業者トシテ少シモ不自由不都合ナコトモナク、又監督イタシマシテモ、重複シテ惡イト云フヤウナコトモナイヤウナ風ニ、篤ト協調ガ遂ゲテアルノデアリマシテ、之ヲ各條項ニ付テ御尋ネヲ下サルナラバ、此條項ハ此意味ニ於テ此程度ニ於テ鐵道省ノ監督ニ行クノデアル、又此條項ハ此意味ニ於テ此程度此範圍ニ於

テ遞信省ガ之ヲ監督シテ行クノデアルト云フ風ニ兩者ノ分界ト云フモノヲハッキリ決メテ、其間ニ少シモ行違ヒ、若クハ不都合ノ生ジナイヤウニ、協調ガ遂ゲアル次第デアリマス、左様御了承ヲ願ヒタイと思ヒマス

○子爵瀧脇宏光君 少シ飛ビマシテ、十九

條ノ方デチョット御尋ネヲ致シタイノデアリマスガ、第十九條ニ所謂「社債ノ總額ハ拂込ミタル株金額ノ二倍ヲ超ユルコトヲ得ズ」、拂込金ノ二倍マデハ社債ヲ募ルコトガ出來ルヤウニ此十九條デナッテ居ルノデアリマスルガ、此終ヒノ方ニ「第一項ノ規定ニ依リ募集スル社債ニ付テハ工場抵當法ニ依リ會社ノ事業ニ屬スルモノヲ抵當ト爲スコトヲ要ス」ト云フコトニナッテ、是ガ必要ニナッテ居リマスニ拘ラズ、但シ特別ノ事情アル場合ニ於テ主務大臣其ノ必要ナシト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ」ト云フコトニナッテ居リマスガ、此頃ハ電氣ノ事業ナンカニ付テハ大抵ハ擔保付ノ社債デナケレバ引受ケモ致シマスマイシ又擔保付デナケレバ社債モ出來ナイト存ジマスルノデスガ此特別ノ事情アル場合ト云フ此文句ガ原文ニハ公益上支障ナシ云々トアッタト存ジマス、ソレヲ特別ノ事情アル場合ト御直シニナッ

タト云フノハドウ云フ意味デ御直シニナリマシタノデアリマスカ、寧ロ此公益上支障ナシト云フノヲ廣ク之ヲ御改正ニナッタノハ事業者ノ特別ノ事情ヲ大臣ニ於テ參酌シテ廣ク之ヲ御認めニナル爲ニ特別ノ事情ト御直シニナッタノデゴザイマスカ、此點ヲチョット御尋ネ致シタイ

○政府委員(富安謙次君) 御答ヘヲ申上ゲ

マス、第十九條ノ末項ノ但書キノ特別ノ事情アル場合トナッテ居リマスルノガ斯ク變リマスル前ニ於キマシテ、公益上支障ナシト認めタル場合トアリマシタコトハ誠ニ仰セノ通りデゴザイマス之ヲ變ヘマシタコトニ何等カ元ノモノヨリモ廣クスルト云フヤウナ意味ガソコニアルノデハナイカト云フコトデアリマスルナラバ、左様ナ意味ヲ以チマシテ言葉ヲ改メタ譯デハゴザイマセヌ、此但書ヲ設ケマシタ趣旨ト申シマスルモノハ、實際ニ於キマシテ、外債募集ノ場合ヲ豫想イタシテ居ルノデアリマシテ、外債ノ場合ニ於キマシテハ無擔保ト爲シ得ル特例ヲ認メル必要ガアルト考ヘマシタノデ前ニハ公益上支障ナシト認めタル場合ニ於テハト云フ言葉ヲ以チマシテ其意味ヲ表現セシメヤウト致シタノデアリマスルガ、後ニハ言葉ハ變リマシタケレドモ其趣旨ニ於

キマシテハ齊シク外債ノ場合ヲ考慮シタノデアリマシテ、全然立案ノ趣旨ヲ同ジクシテ居ルノデアリマス、然ラバ字句ノ問題ト致シテ何故ニ前ニ公益上支障ナシト認めタル場合トアッタノヲ斯様ニ改メタカト申シマスルト主務大臣デアリマスル遞信大臣ガ

社債ノ發行ニ對シマシテ之ヲ無擔保トスル

モ公益上支障ナイト云フコトニ致シマスト從ヒマシテ、社債發行ニ對シマシテ、遞信大臣ガ保證スルカノ如キ意味合ヲソコニ有スルモノト解セラルルヤウナ嫌ヒガアリハシナイカト云フ懸念ヲ我々ガ持つニ至リタノデアリマス、若シ左様ナコトデアリマスルナラバ財界安定ノ衝ニ當リテ居ルノデハナイ遞信大臣ニ於キマシテ、其地位ニ鑑ミテ、妥當デナイト云フコトヲ私共ハ考ヘマシテ、旁、斯様ナル文字ヨリモ特別ノ事情アル場合ハト云フコトヲ法文ノ上ニハ表ハシマスル方ガ立法技術上適當デハナイカト考ヘラレマシテ、斯様ナ事情ヲ考慮イタシマシタ結果文字ノミヲ改メマシタニ過ギマセヌノデアリマス、事實ニ於キマシテ立案ノ趣旨ニハ外債募集ヲ考慮シタモノデアルト云フ點ニ於テハ前後少シモ變ル所ハナイノデアリマスルカラ左様ニ御了承ヲ願ヒタイノデアリマス

○子爵瀧脇宏光君 只今ノ御話ニ依リマスルト云フト外債ノ爲ニト云フ言葉デゴザイマスガ、只今マデノ外債ハ皆無擔保デゴザイマスルカ、ソレトモ擔保ガ皆付イテ居ルノデセウカ

○政府委員(富安謙次君) 御答申上ゲマ

ス、唯今迄ノモノハ外債ハ擔保ガアルト云フコトガアリマス、併ナガラ斯様ナコトヲ私共ガ考ヘルニ至リマシタ所以ヲ申シマスルト私共モ斯様ナ外債ノ募集、經濟事情ナドニ付キマシテ甚ダ疎イノデアリマスルケレドモ、當業者ナドノ話ヲ聽イテ見マスルト云フト外國ノ金融市場ニ於キマシテハ日本ナドト大變趣キヲ異ニシテ居ルノグラウト存ジマスケレドモ、第二順位以下ノ擔保ナラバ欲セヌ、寧ロアッテ害ニナルト云フヤウナコトデ大體ニ於テ擔保ノナイ方ヲ金融市場ハ希望シテ居ルト云フ事情ガアルト云フコトヲ事實ニ承リテ居ルノデアリマス、然ルニ日本ノ電氣業界ノ實情ヲ見マスと云フト多クハ第一順位ノ擔保ニ既ニ入ッテ居ルノデアリマシテ、サウシマスルト云フト、只今申上ゲマシタヤウナ海外ノ金融市場ノ實情、實際向フノ注文トコチラノ實情トソグハナイコトニナルノデアリマシテコンナ特例ヲ認めテ置キマセスケレバ如何ニモ法

規ニ膠著シテ經濟ノ實情ニ副ハナイト云フ
憾ミガアリ、斯業ノ發達ノ上ニモ支障ガア
ルト考ヘマシテ其事情ヲ考慮イタシマシタ
結果本條但書ノヤウナ例外ヲ置イデ實情ニ
副ハシメタイト云フコトヲ考ヘテ居ル次第
ナノデゴザイマス

○子爵瀧脇宏光君 モウ一ツ條文ニ付キマ
シテ御尋ネ致シタイノデゴザイマスガ、二
十九條ノ二項ニ公共團體ハ公益上ノ必要ニ
因リ主務大臣ノ許可ヲ受ケテ前項ノ事業ノ
買收ヲ爲スコトヲ得」ト云フ一條ガ入ッテ居
リマスルガ、是ハ確力原文デゴザイマスカ
何カニハ此公共團體ノ買收ノ條文ヲ入レテ
置クト云フコトハ事業者ニ不安ヲ與ヘル、
何時買ハレルカ分ラヌト云フコトデ不安ダ
カラ之ヲ抜カウカト云フコトデ、確力抜イ
テアッタト存ジマスルガ、是ハ矢張り玆ニ御
入レニナリマシタノハサウ云フ心配ハナイ
ト云フ御見込デ御入レニナリマシタノデゴ
ザイマセウカ

○政府委員(富安謙次君) 此第二項ノ公共
團體ノ強制買收ノ規定ガ前ニナカッタ筈デ
ハナйкаト云フ仰セデアリマスルケレド
モ、此案ノ出來マスル過程ニ於キマシテ初
メカラ此案ハアッタモノデアリマシテ是ガ
ナカッタト云フヤウナコトハナイノデアリ

マス、唯御言葉ニモアリマシタ公共團體ノ
買收ト云フモノガ電氣事業界全般ノ實情ニ
副ハナイヤウナ方法ニ於テ行ハレルコトノ
危険ハナйкаト云フ御趣意デアリマスルナ
ラバ私共ノ方モ其危険ハナイトハ言ヘナイ
ト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、
ソレヲ適當ニ事業全般ノ上カラ見テ支障ナ
イヤウニ運用シテ行クト云フコトニ付キマ
シテハ主務大臣ノ許可ニ於テ慎重ナ考慮ヲ
拂フト云フコトヲ以テ運用ノ萬全ヲ期シタ
イト思ッテ居リマス、公共團體ノ濫リナル買
收ノ如キヲ阻止スルト云フコトニ付キマシ
テハ最善ノ注意ヲ致ス考ヘデ居ル次第デゴ
ザイマス

○子爵瀧脇宏光君 サッキノアレハマダ出
來マセヌデスカ

○政府委員(富安謙次君) 午前ニ御要求ヲ
戴キマシタ資料ノ中デ時間ノ都合デマダ一
ツダケ出來上ラナイモノガゴザイマス、ソ
レハ主ナル電氣事業者ノ重複ノ狀況ガマダ
表ニ迄刷リ上ル迄ニ至ッテ居リマセヌガ、其
外ノモノニ付キマシテハ大體玆ニ取揃ヘマ
シテ御覽ヲ願フト云フ運ビニ迄ニ致シマシ
テゴザイマス、只今御手許ニ差上ゲテ居ル
サウデゴザイマスカラ、ソレヲ御覽ヲ願ヒ
マシテ御質疑ニ應ズルコトニ致シテ如何カ

ト存ジマス、唯ダ昭和五年末及ビ十年末ノ
電力需給調べ、其表ニ付キマシテハ一言申
添ヘテ置キマシタラ如何カト存ジマスノデ
アリマス、是ハ五年末ニ於テ電力ノ過不足
ノ狀況ガドウ云フコトニナルカト云フ御尋
ネト同時ニ將來如何様ナ趨勢ヲ以テ之ガ動
イテ行クドラウカ、需給ハドンナ風ニ進ン
デ行クドラウカト云フ當局ノ見込ヲ知ラセ
テ欲シイト云フ御要求デアッタカニ存ズル
ノデアリマス、之ニ對シテハ此表ガビタリ
ト御要求ニ或ハ副ヒ得ナイカトモ存ズルノ
デアリマス、私共ノ方ト致シマシテハ大體
此表ニアリマスルヤウニ五年末ノ……是
モ或ル程度ノ推定ガ入ッテ居ル數字デゴザ
イマスケレドモ此數字、ソレカラ將來五年
ノ後ニ、即チ昭和十年ノ時ニ於キマシテドウ
云フコトニナッテ居ルカト云フ數字ヲ玆
ニ掲ゲマシテ、關東地方ニ於キマシテハ十
年末ニ於ケル不足ハ二十万「キロ」、中部地
方ニ於ケル十年末ノ不足ハ五万九千「キロ」
近畿地方ニ於ケル十年末ノ不足ハ二十五万
「キロ」ト云フ凡ソノ見當ヲ付ケテ居ルノデ
アリマス、五年カラ十年ノ間ニ如何ヤウナ
歩ミヲ以チマシテ、此數字ガ動イテ行クダ
ラウカト云フコトニ付キマシテハ私共ノ方
ハ無論只今率ニ依リマス、算盤カラス様ナ

數字ヲ出シテ居ルノデハアリマスケレド
モ、何年ニス様ナ率ヲ以テ動キ更ニ其翌年
ニドノヤウナ率ヲ以テ進ムカト云フヤウナ
細カイ私共ノ内輪ニ持ッテ居リマス、増進變
動ノ率ヲ責任ノアリマスル監督官廳ト致シ
マシテ、之ヲ發表イタシマシテ、果シテ其
結果ガ如何ナモノデアラウカト云フヤウナ
點モ多少躊躇イタシマス、五年末ガ斯ウデ
アル、十年末ガ斯ウデアルト云フコトデア
リマスルナラバ、其間ノ進ミ方ガ毎年平均
ニ同ジヤウニ行クカ又昭和六年、七年、八
年ハドンナ風ニ違ッテ行ク結果コンナニナ
ルドラウト云フヤウナコトニ付キマシテ
ハ、ソレノノ此表ヲ御覽下サル方ノ御見
込ト云フヤウナモノニ御委セテ致スト云フ
程度ニ於キマシテ、御尋ノ趣旨ニビッタリト
箴ッテ居ナイカモ知レマセヌガ數字ニ付キ
マシテハ、御諒承ヲ得タイト存ジテ居ル次
第ナノデゴザイマス、ソレダケノコトヲ、
此將來ノ三地方ニ於ケル需給ノ豫想ト云フ
表ニ付キマシテ附加ヘサシテ戴キタイト思
ヒマス

○子爵瀧脇宏光君 今ノ表ノコトデチヨッ
ト御尋イタシタイノデゴザイマスガ、此五
年ハ、五年度末ドラウト存ジマスルガ、三
年四年五年ト云フ此間ニ於キマシテ、此不

景氣ノ爲ニ餘程需要ガ少ナクナッテ行クダ
ラウト存ジマスガ、ドノ位ノ率デ少クナリ
マスデゴザイマスガ

○政府委員(富安謙次君) 御答ヲ申上ゲマ
ス、只今御話ノアリマシタ點ニ丁度御答ニ
當ッテ居ルノデハナイカト思ハレマス表ヲ、
今日デナク既ニ御手許ノ方ニ配リマシタ
表ノ中ノ、電力需用實績ト申シマスルノヲ
御覽下サイマスナラバ、大正十年カラ昭和
五年ニ至リマス比較的長イ間ノ數字、及ビ
ソコニ率ガ現ハレテ居ルノデゴザイマシ
テ、此數字カラ御尋ノ點ニ對シマスル御了
解ヲ得タイト存ズルノデゴザイマス、是デ
ゴザイマス……

○子爵東園基光君 幸ヒ大臣ガ御出席デア
リマスデ、一應念ノ爲ニ御伺イタシテ置キ
タイト思フ、此電氣事業法ハ實ハ期日デモ
長クゴザイマズルナラバ、色ミ承ハリタイ
コトモアリマスノデゴザイマスガ、大概主
要ナコトハ、委員諸君ヨリ御尋ネガアリマ
シテ、略ボ了解イタシマシタ、豫ネテ……
初メヨリ問題ニナッテ居リマス此電氣委員
會、是ハ色ミ御説明ニ依リマシテ、單純ナ諮
問機關デハナイト云フヤウナ御話モ屢、承ハ
ルノデアリマスルガ、本案ヲ決シマスル上
ニ付キマシテハ、此邊ニ付キマシテハッキリ

致シマシタ大臣ノ御言明モ承ハリタク存ズ
ルノデアリマス、又是等ノ組織サレマス所
ノ此委員ノ選任等ニ付キマシテハ、色ミ皆サ
ンカラ御尋ネモアリマシタヤウニ存ジマス
ルガ、或ハ徒ラニ形式バカシニ終ルヤウナ
機關デハイカヌ、又純粹ノ官吏ノミデモ要
ヲ得ヌ、或ハ又事業者、殊ニ卸賣ト小賣ナ
ドヲ相竝ベテ事業者等ヲ入レラレルト云フ
コトハ色ミナ弊害ガアル宜シクナイ、又需
用家ニ致シマシテモ、餘リ直接ノ大キナ需
用家ナドヲ入レラレルノモ如何デアラウ
カ、又政黨政派ニ餘リ深い關係ノアル者ハ
避ケラレタイ、色ミノ御質問ヤラ希望ヤラ
出マシタヤウデアリマスガ、是等ニ關シマ
スル大臣ノ意向等モ承リマシテ、之ニ依リ
マシテ委員會ガ相當有力ナル、又意義ノア
ル機關ニナルト云フコトヲ伺ヒマシテ、本
案ヲ決定スルヤウニ運ビタイト存ジマス、
念ノ爲ニ其邊ノ所ヲ明瞭ニ伺ッテ置キタイ
ノデアリマス

○國務大臣(小泉又次郎君) 委員會ノ選任
方針等ニ付キマシテ只今非常ニ詳シク例ヲ
御舉ゲニナッテノ御質問デアリマスルガ、私
モ謹ンデ之ニ御答イタシタイト思フノデア
リマス、此電氣委員ノ選任ニ付キマシテハ、
申上ゲルマデモナク從來色ミノ委員會ナル

モノガアリマシタガ、往々ニシテ所期ノ效
果ヲ完全ニ擧ゲ得ナイ嫌ヒガアッタヤウニ
思ハレルノデアリマス、依ッテ此度此電氣事
業法案ニ依リマスル所ノ委員、即チ電氣委
員ナルモノハ電氣事業ニ知識經驗ヲ有シ、
且ツ需要者ト供給者トノ利害ヲ公平ニ判斷
ヲ致シマシテ、眞ニ國民利福ヲ圖ルヲ第一
義トスル人格者ヲ選定イタシタイト考ヘテ
居リマス、此趣旨ニ依リマシテ電氣事業ニ

等モ能ク考慮ノ中ニ加ヘマシテ、全ク權威
ノアル、而カモ意義ノアル委員會ヲ組織シ
テ見タイト今日カラ左様ナ考ヲ持ッテ居ル
次第デアリマス

密接關係アル所ノ官廳ノ官吏ト、而シテ民
間ニ於ケル知識經驗ヲ有スル者トヲ以テ委
員會ヲ組織イタシタイト考ヘテ居ルノデア
リマス、只今仰セラレマシタル如ク其委員
ヲ單ニ事業者ヲ選任スルトカ、需要者側ヲ
委員ニスルトカ、若クハ政黨政派ニ關係ア
ル者ハドウカト、色ミノ意味ヲ以テ御尋ネ
ガアッタノデアリマスガ、之ヲ要シマスルノ
ニ政黨政派ヲ超越致シマシテ、眞ニ需用關
係トノ公平ヲ第一義トシテ總テノモノヲ適
切ニ判斷ヲシテ頂キマスル所謂知識ト經驗
ニ富ンデ居ル立派ナ人格ノ御方ニ御願ヒ致
シタイ、其割當テハ只今申上ゲマシタヤウニ
密接ナ關係ヲ有ッテ居リマスル所ノ官廳ノ
官吏ト、民間ノ知識經驗者ト斯様ナモノ
ヲ選定イタシタイト思ヒマス、但シ其選定
ニ當リマシテモ特ニ又一層只今御注意ノ點

○子爵瀧脇宏光君 此間頂キマシタ表デ御
尋ネ致シタイト存ジマスガ、此昭和五年度
末及ビ十年度末ニ於ケル電力需給調、ソ
レノ關東地方五年度ノ需要電力ガ七十三万
「キロ」デゴザイマスガ、ソレカラ中部地方
ガ二十一万六千「キロ」、近畿ノ地方ガ六十
一万「キロ」、斯ウ云フコトニナッテ居リマス
ヤウデアリマスガ、先程仰セニナリマシタ
電力需要實績ト云フ方ノ關東ノ實績ノ昭
和五年度ノ一番終ヒヲ見テ見マスと云フ
ト、八十一万六千「キロ」ト云フコトニナッテ
居リマス、約七八万「キロ」ノ差ガゴザイマ
スノデゴザイマス、ソレカラ中部ニ於キマ
シテモ一万幾ラノ差ガゴザイマスルシ、殊
ニ近畿ニ於キマシテハ約五万四千「キロ」バ
カリノ差ガ出テ參リマスノデゴザイマスガ、
此只今頂キマシタノヲ本當ト致シマスレバ
此減ッテ居リマス率ハモットウント大キクナ
ルヤウニ存ジマスガ、何方ガ本當……、是
ハ何力違ッタコトガアリマスアリマスノデ
スカ

○政府委員(富安謙次君) 御答ヘ申シマ

ス、表ヲ取りマシタル時期ヲ異ニ致シテ居
リマスノデ、表ノ取り方……見方ノ相違ガ
アツタ結果只今御注意マデ頂キマシタヤウ
ナコトニ相成ツタコトト存ジテ居リマス、此
需要實蹟ト申シマスル方ノ八十一万「キロ」
ト申シマスルノハ發電所デ出力ヲ取りマシ
タノデ、斯様ナ數字ガ上テ居リマス、併ナ
ガラ昭和五年度末カラ十年度末ニ於ケル電
力調ベニ上テ居リマス關東地方七十三万
「キロ」ト申シマスノハ、需用地ニ於ケル出
力ヲ掲ゲテ居リマスノデ、發電所ノ出力ヲ
上ゲマシタモノヨリモ開キガ生ジテ來テ居
ル次第ト御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○子爵瀧脇宏光君 サウ致シマス供給出
力デゴザイマスガ只今頃キマシタ表ハ……
イヤ此前頂キマシタ表ニゴザイマス、八十
一万六千「キロ」ト云フノハ發電所ニ於ケル
供給出力デゴザイマスカ

○政府委員(富安謙次君) 左様御諒解ヲ願
ヒタウ存ジマス

○子爵瀧脇宏光君 供給出力トシマス、
之ニアリマスノハ九十万「キロ」デ……八十
一万「キロ」デスカラ、約八万幾ラノ差ガ出
ルノデゴザイマスガ……

○政府委員(富安謙次君) 供給出力ト申シ
マス言葉ガ色ミニ用ヒラレマシテ、左様ナ

御尋ネヲ重ネテ頂クコトニナリマシテ恐縮
イタシマスガ、此需用電力供給出力ト竝ベ
テ書イデアリマス、供給出力ト云フノハ、
發電力ニ對シテ需用ノ方ヲ供給出力トシテ
現シテ、ソレガ九十万「キロ」ト現レテ居ル
ノデアリマス、此意味ニ於テ……、委員長一
寸今調べマシテ御答ヘ申上ゲマスカラ……
○國務大臣(小泉又次郎君) 只今瀧脇子爵
ノ御質問ハ數字ニ關係イタシテ居リ、殊ニ
技術的ノ關係モアルト存ジマスカラ、御許
ヲ得マシテカラ説明員カラ詳シク御説明ヲ
サセタイト存ジマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 宜シウゴザイ
マス

○説明員(前原助市君) 此前ノ方ニ差上ゲ
マシタ電力需用實蹟ト云フ方ノ關東ノ方ハ
五年ニ於テ八十一万六千「キロ」、今日差上
ゲマシタ方ニハ七十三万「キロ」デアリマ
ス、此開キハ、今日差上ゲマシタ方ノハ需用
地ニ持ッテ來テカラノ電力ヲ掲ゲマシタノ
デ、此前差上ゲマシタノハ八十一万六千「キ
ロ」ト云フノハ發電所ニ於ケル實際ノ電力
其損失ガ七万「キロ」バカリ出テ居ルノデア
リマス

○子爵瀧脇宏光君 其中ノ約十萬「キロ」ニ
近イモノハ「ロス」デゴザイマスカ

○説明員(前原助市君) 左様デゴザイマ
ス、大體「ロス」デアリマス

○委員長(侯爵大隈信常君) 御質問ノアル
方ガアルナラ此際願ヒマスガ、或ハアリマ
セヌナラ今日ハ是デ止メマシテ、又明朝モ
ウ一回開カサナケレバナラヌノデアリマス
カラ、遺漏ガアリマスレバ其場合ニ簡單ニ
質問ヲ願ッテモ宜カラウト思ヒマス、ソレデ
ハ是デ今日ハ散會イタシマス

午後二時五十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵大隈 信常君

副委員長 内田 嘉吉君

委員

伯爵川村鐵太郎君

子爵東園 基光君

子爵新庄 直知君

子爵瀧脇 宏光君

男爵北河原公平君

男爵有地藤三郎君

男爵近藤 滋彌君

男爵肝付 兼英君

山之内 一次君

八田 嘉明君

中村圓一郎君

下出 民義君

國務大臣

遞信大臣 小泉又次郎君

政府委員

遞信政務次官 中村啓次郎君

遞信參與官 福田 五郎君

遞信省電氣局長 富安 謙次君

遞信省經理局長 大橋 八郎君

説明員

遞信省電氣局技師 前原 助市君

田村 新吉君

名取 忠愛君

野村 徳七君

昭和六年四月六日印刷

昭和六年四月七日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局